

38
184

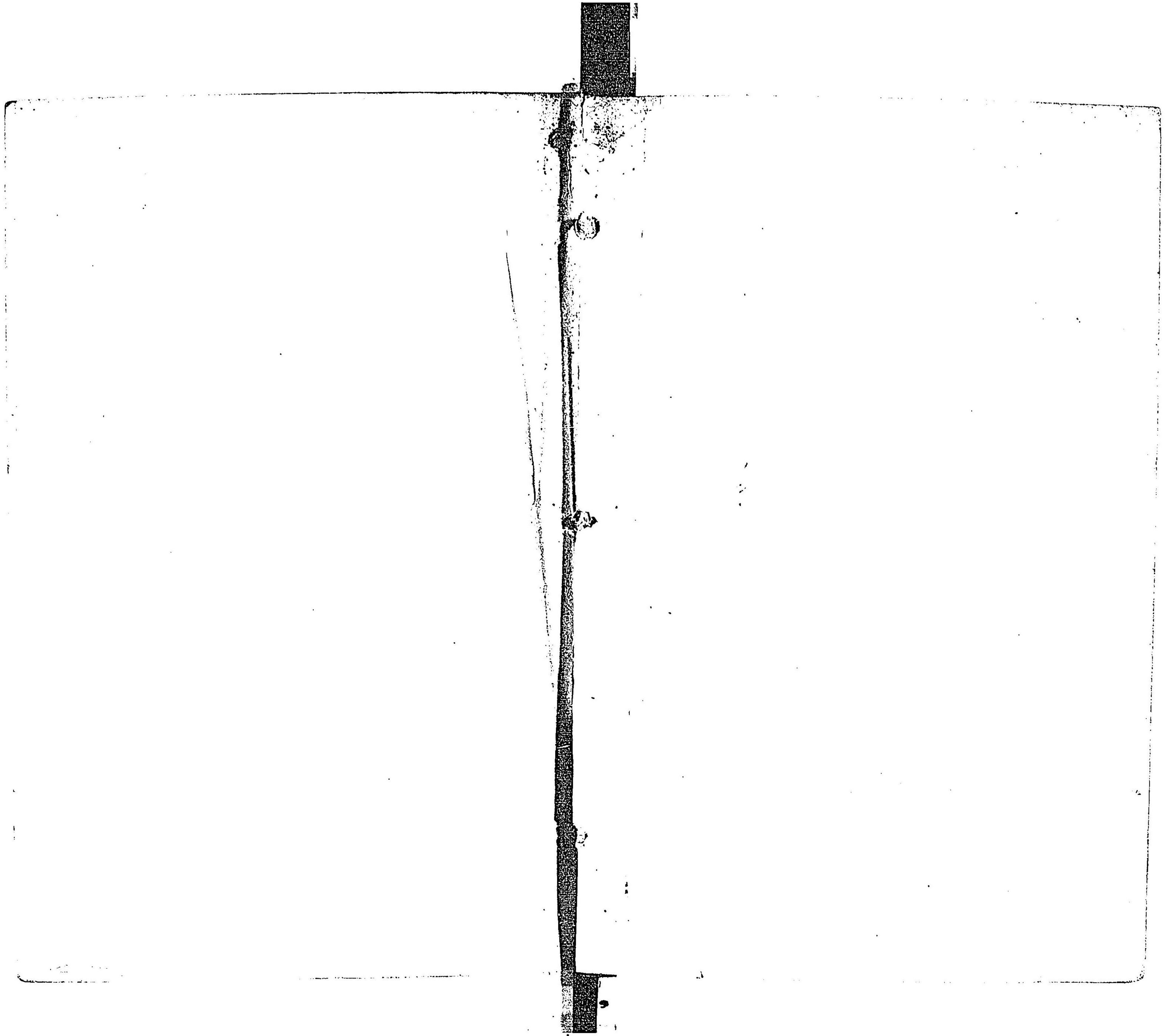
法學博士 梅 謙次郎先生序

法學士 加古貞太郎先生著

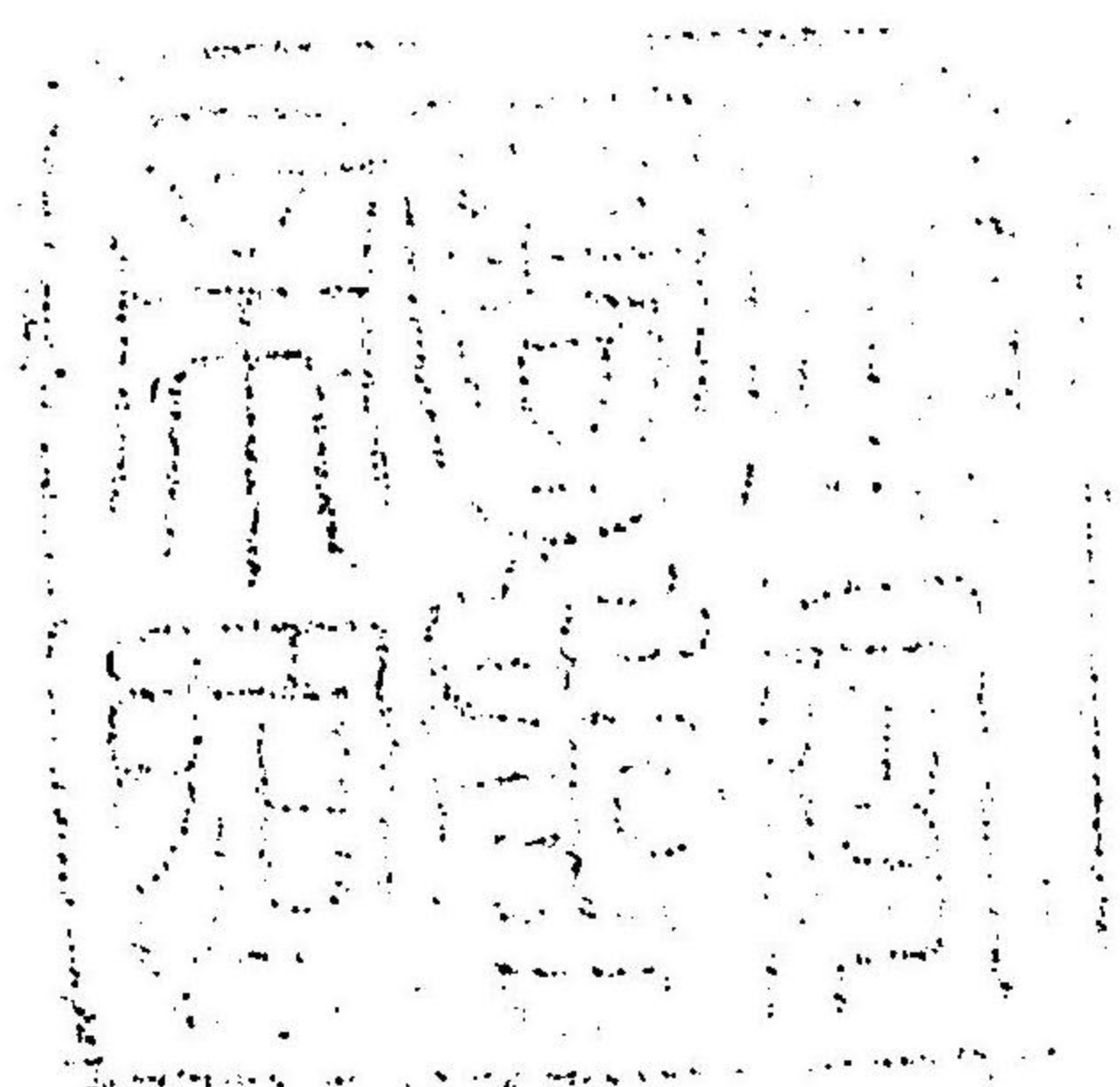
約束手形法義解

全

東京 東西書院藏版



30-144

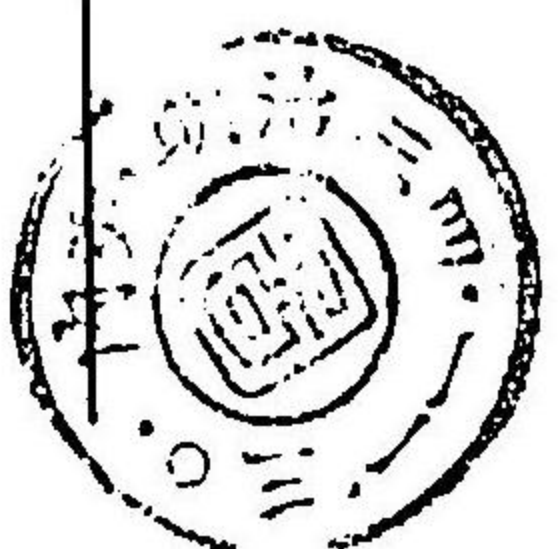


法學博士 梅 謙次郎先生序

法學士 加古貞太郎先生著

約束手形法義解

全



東京 東西書院藏版

約束手形法義解序

法學士加古貞太郎君ガ「約束手形法義解」ナル本
ヲ著シ、其原稿ヲ齎シ來ツテ、予ニ序ヲ書ケト
曰ハルルニ因リ、之ヲ一覽スルニ、綿密且明瞭
ニ關係條文ヲ説明シタルモノデアツテ、其初學
者及ビ實際家ニ裨益スル所ハ蓋シ尠少デナカ
ラウト思ハルルノデアアル、抑手形法ハ其法理

頗ル錯綜シテ居ツテ、由來初學者ノ最モ理會ニ苦シム所デアアル、殊ニ約束手形ニ付テハ、多ク爲替手形ノ規定ヲ準用スルニ止マリ、約束手形ニ關スル法則ノ全部ヲ知ルコト甚ダ困難デア
ル、加之「準用」ハ常ニ甲ノ事項ニ關スル規定ヲ乙ノ事項ニ適用スルノデアアルカラ、性質ノ異ナルヨリ生ズル相違ハ當然其中ニ包含セラレタ

ルモノト視ナケレバナラヌガ、偕如何ナル點ガ性質ノ異ナル所デアアルカ、隨ツテ兩者ノ間ニ如何ナル相違ガ生ズルノデアアルカト問ヘバ、法學ノ大家ト雖モ、往往其解釋ニ迷フコトガアル位デアアル、况ヤ初學者及ビ法律ノ門外漢ニハ、殆ド五里霧中ニ彷徨スル場合ガ尠クナイノデアアル、然ルニ本書ハ此準用ノ範圍ヲ明カニシ、初

學者ニモ、法律ノ門外漢ニモ、一目瞭然タルヤ
ウ説明シテアルノハ、特ニ本書ノ價值アル所デ
アル、是レ予ガ喜ンデ此序ヲ書イタ所以デア
ル

四

明治三十四年十一月

梅 謙次郎 識ス

約束手形法義解目次

緒 言

一 頁

約束手形法ノ内容 約束手形ニ關スル立法例 約束手形ニ關スル
著作 約束手形ニ關スル法規搜索ノ煩勞 法律ニ關スル著述ノ二
體裁 逐條講義 釋義理論及ヒ判例ノ三欄

第一 總 則

六 頁

手形ノ種類 有價證券 絶對的有價證券 債權的有價證券
約束手形ノ意義 約束手形署名者ノ責任 署名ノ意義 記名捺
印ノ署名 約束手形上ノ債權債務ハ證券的債權債務ナリ 約束手
形上ノ代理署名 偽造變造約束手形 約束手形偽造ノ場合 約
束手形變造ノ場合 變造前署名ノ推定 偽造變造約束手形ニ關ス

約束手形法義解 目次

一

ル無権利者 無能力者カ約束手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタル場
 合 未成年者 禁治産者 準禁治産者 妻 約束手形行爲
 ハ獨立ナリ 約束手形所載事項カ效力ヲ生セサル場合 重要ナラ
 サル附記 約束手形上ノ請求ニ對抗シ得ヘキ事由 約束手形上特
 ニ規定アル事由 直接ニ對抗シ得ヘキ事由 手形ノ改正 約束
 手形返還ノ請求 約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保全手續ヲ爲スヘキ
 場所 約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ
 爲スヘキ行爲ノ種類 約束手形上ノ債權ノ時効 支拂拒絶證書ヲ
 作成セシメザリシ場合ノ時効如何 不當利得ノ償還請求權

第二 振 出

約束手形ノ形式的要件 手形文句 一定ノ金額 受取人ノ氏名
 又ハ商號 單純ナル支拂ノ約束 振出ノ年月日 一定ノ満期日
 振出地 振出地ノ意義 振出人ノ署名 支拂地ノ記載ナキ場合

手形金額 無記名式約束手形 満期日ノ種類 満期日ヲ記載セ
 サリシ場合 一覽後定期拂ノ約束手形ノ呈示期間 一覽後定期拂
 約束手形呈示ニ際シ適法ナル記載ヲ得ザリシ場合 他所拂約束手形
 支拂場所 指定銀行ノ記載

第三 裏 書

約束手形ノ裏書 裏書讓渡ト債權讓渡トノ差違 戻リ裏書 裏
 書ノ方式 記名式裏書 無記名式裏書 裏書ノ效果 無擔保
 裏書 裏書禁止ノ裏書 裏書人ハ絶對ニ裏書ヲ禁止シ得ルヤ
 無擔保ノ裏書ト裏書禁止ノ裏書トノ差違 無記名式裏書ノ變更
 無記名式裏書ノ效力ニ關スル佛國ノ學說 後裏書 質入裏書及ヒ
 取立委任ノ裏書 質入裏書ノ意義 質入裏書ノ效力 取立委任
 ノ裏書ノ意義 取立委任ノ裏書ノ效力 裏書ノ連續 裏書連續
 ノ原則ノ適用 真正ナラサル裏書ノ效力

第四 支拂

一二七頁

振出人カ支拂ヲ爲ササリシ場合ノ責任 振出人破産ノ場合 振出人ノ破産ニ基因スル擔保ノ失効及ヒ供託金取戻 一覽拂約束手形ノ支拂ヲ求ムヘキ期間 一覽拂約束手形所持人カ前者ニ對スル權利保全ノ條件 約束手形金額支拂者ノ權利 約束手形金額一部ノ支拂 約束手形金額ノ供託

第五 償還ノ請求

一四八頁

償還請求ヲ爲シ得ヘキ場合 償還請求權行使并ニ保全ノ條件 裏書人ノ償還請求 支拂拒絕證書作成ノ免除 支拂拒絕證書作成免除ノ效力 他所拂約束手形ノ償還請求 約束手形所持人ノ前者ニ對スル償還請求金額 償還請求ヲ受ケタル裏書人ノ前者ニ對スル償還請求金額 戻リ爲替手形 戻リ爲替手形ノ要件 償還ヲ爲ス

者ノ權利 償還請求通知ノ效力

第六 保證

一七九頁

保證債務ノ成立及ヒ效力 手形保證ノ形式 何人ノ爲メニ保證セシヤ不分明ナル場合 保證債務ヲ履行シタル保證人ノ權利 保證人ノ取得スル權利ノ範圍

第七 參加支拂

一八七頁

豫備支拂人ノ參加支拂 豫備支拂人ノ參加支拂カ發生シ得サル所以 第三者ノ參加支拂 參加支拂ノ申出多數アル場合 第三者ノ參加支拂ニ於テ被參加人ヲ示ササリシ場合 參加支拂ヲ受クル手續 參加支拂ノ效力 參加支拂人カ取得スル權利ノ性質

第八 拒絕證書

二〇〇頁

拒絶證書ノ意義 拒絶證書ノ種類 拒絶證書ノ作成者 拒絶證書ニ記載スヘキ事項 數人ニ對シテ手形上ノ請求ヲ爲スヘキ場合 拒絶證書ノ保存

第九 約束手形ノ謄本

二二二頁

約束手形ノ謄本作成

附 錄

約束手形法法文

約束手形雛形

約束手形法義解

法學士 加古貞太郎著

緒 言

約束手形法
ノ内容

本書講述ノ目的タル約束手形法トハ約束手形ヲ規定スル法規ノ意義ニシテ其實質ハ現行商法ノ規定六十二條ヨリ成ルモノトス抑モ約束手形ニ關スル我商法ノ規定ヲ按スルニ手形ト題スル第四編ノ第三章ヲ約束手形ト題シ第五百二十五條乃至第五百二十九條ノ五條ヲ掲ク僅々五條ノ法文ヲ以テ約束手形ニ關スル法律關係ヲ規定シ盡クセリトセハ實ニ一驚ヲ喫セサルヲ得ス然リト

緒 言

雖モ其法文ヲ一讀スレハ五箇ノ法條能ク約束手形ニ關スル法律關係ヲ規定シ得ルノ所以ヲ發見スルニ難カラサルナリ如何トナレハ其最終ノ條文タル第五百二十九條ニ於テハ爲替手形ニ關スル規定中實ニ四十七條ノ多數ヲ準用スヘキコトヲ明規スレハナリ而シテ手形編ノ總則タル第四百三十四條乃至第四百四十四條ノ十一條ハ各種ノ手形ニ通スル總則ナレハ此十一條モ亦約束手形法ノ總則ナリト云ハサルヘカラス故ニ約束手形ニ關スル法律ハ通計六十二條ヨリ成立スルモノニシテ此六十二條ノ説明カ約束手形法義解ト題スル本書ノ内容ヲ爲スモノトス

約束手形ニ關スル各國ノ立法例ハ孰モ皆約束手形ニ關シテハ詳細ノ規定ヲ掲ケスシテ爲替手形ニ關スル規定ヲ準用スヘキモノ

約束手形ニ
關スル立法
例

ト爲ササルハナシ而シテ其準用ヲ爲ス方法ニ付テハ之ヲ二大別スルコトヲ得其一ハ單ニ爲替手形ノ規定ハ之ヲ約束手形ニ準用スト規定シ其準用セラルヘキ法條ヲ逐一列舉セサルモノニシテ我舊商法(第八百十五條參觀)及ヒ英國爲替手形條例(第八十九條參觀)ノ如キ此種ニ屬シ其二ハ爲替手形ニ關スル法條中約束手形ニ準用セラルヘキモノヲ逐一列舉スルモノニシテ我現行商法(第五

百二十九條參觀)ノ如キ此種ニ屬ス

立法ノ體裁既ニ斯ノ如シ從テ學者ノ講談著作モ亦爲替手形ニ密ニシテ約束手形ニ粗ナルハ自然ノ勢ナリトス然ルニ我國ニ於ケル手形授受ノ實際ノ狀況ヲ觀察スルニ約束手形使用ノ頻繁ナル之ヲ爲替手形ニ比較スレハ實ニ豫想ノ外ニアリ從テ諸種ノ疑問

約束手形ニ
關スル著作

ハ殆ト總テ約束手形ニ對シテ發生スルヲ見ル而シテ立法ノ體裁學者ノ著述カ前述セシカ如ク爲替手形ニ密ニシテ約束手形ニ粗ナルノ事實アリ是レ豈ニ吾人ノ取引關係ヲ規定スル規距準繩タル法律ノ本旨ニ適ヒ又法律ヲ解釋スル學者ノ任務ヲ全フスルモノト謂フコトヲ得ンヤ勿論現行商法ニ於テハ既ニ一言セシ如ク約束手形ニ準用スヘキ爲替手形ノ法條ヲ列舉スト雖モ活潑ナル實業界ニ馳騁シ迅速ニシテ且正確ヲ尙フ商人カ約束手形ヲ授受スルニ當リ一々準用法條ヲ對比スルカ如キハ極メテ煩勞ニシテ厭フ可キコトナルノミナラス準用ニ際シテ往々諸般ノ疑問ヲ發生スルコト尠カラズ是レ本書ノ著述アル所以ニシテ總テ準用法條ハ原法條ノ字句ヲ準用ノ範圍ニ於テ適正ニ改メ加之整然タル

約束手形ニ
關スル法規
検索ノ煩勞

秩序ノ下ニ之ヲ排列シ且ツ約束手形ノ模範雛形ト共ニ之ヲ掲ク
ルヲ以テ約束手形ニ關スル法文ハ最早之ヲ對比搜索スルノ煩勞
ナキノミナラス準用ニ際スル疑問モ亦決シテ發生スルノ虞ナキ
モノトス

從來法律ニ關スル著述ノ體裁ニ二種アリ其一ハ學理的説明方法
ニシテ其二ハ逐條的説明方法ナリトス學理的説明方法ハ往々机
上ノ空論ニ陷ルノ弊アリ加之本書講述ノ目的タル約束手形法ノ
如キハ實ニ活潑ナル商業社會ニ於ケル取引機關タル約束手形ニ
關スルモノナレハ尤モ實用的ニシテ十分ニ約束手形使用者ノ顧
問タル任務ヲ盡シ得ヘキモノナラサルヘカラス而シテ此目的ヲ
達スルニハ逐條講義ヲ以テ反テ適當ナリト信スルカ故ニ以下逐

法律ニ關ス
ル著述ノ二
體裁

逐條講義

釋義理論例ノ三欄

條其説明ヲ試ミント欲ス勿論各條ノ下ニ於テ諸般ノ疑問ヲ決スルニハ深遠ナル學理ニ基キテ之カ斷定ヲ下シ既ニ裁判例アルモノハ之ヲ引用シ即チ釋義理論及ヒ判例ノ三欄ニ分チ解説スヘシ

第一 總則

總則トハ約束手形法ノ全體ニ貫通スル基本的規定ノ集合ヲ謂フモノニシテ約束手形上ノ債權ノ成立其性質時効ヲ初メ約束手形上ノ行爲ニ關スル原則不當利得ノ償還請求權等總テ約束手形ノ基礎トナルヘキ事項ニ關スル規定ヲ掲クルモノニシテ約束手形法ノ首腦部分ヲ構成スルモノナリトス

手形ノ種類

第四百三十四條 商法ニ於テ手形トハ爲替手形約

束手形及ヒ小切手ヲ謂フ

(釋義) 本條ハ商法ニ於テ手形ト稱スルモノノ範圍ヲ決定セシモノナリ即チ我現行商法ニ於テ手形ト稱スルトキハ第一爲替手形第二約束手形第三小切手ノ三種ヲ包含指稱スルモノトス從テ商法第四編手形第一章總則ノ規定ハ爲替手形約束手形及ヒ小切手ノ三種ニ對スル總則ナルカ故ニ本書ニ於テモ先ツ此總則ノ規定ヲ講述スヘク而シテ此總則ノ研究カ手形使用者ニ最モ緊要ナルハ喋々ヲ待タサル所讀者須ク潛心留意スヘシ
約束手形ノ何物タルハ本書ヲ讀了シテ始メテ之ヲ知悉スルコトヲ得ヘキモノナリト雖モ本條ヲ講述スルニ際シ其概要ヲ説明スルハ極メテ適當ナリト信スルヲ以テ左ニ之ヲ略述スヘシ

有價証券

絕對的有價証券

依權的有價証券

第一總則 第四百三十四條

八

約束手形ハ有價証券ノ一種ニシテ絕對的且ツ債權的ノ有價証券ナリトス有價証券トハ証券ノ占有カ其証券ニ示シタル權利ノ利用ニ必要ナルモノヲ謂ヒ絕對的ノ有價証券トハ其証券ニ示シタル權利ノ利用方法ノ如何ニ拘ハラズ常ニ証券ノ占有ヲ必要トスルモノニシテ債權的ノ有價証券トハ証券ノ移轉カ其証券ニ示シタル金錢又ハ商品其物ノ移轉ト同一ノ效果ヲ有セサルモノヲ謂フ即チ約束手形ノ受者ハ約束手形ニ記載スル金額ヲ請求スル權利ヲ取得スルニ止マルモノトス約束手形タル証券カ法律上ニ於ケル性質及ヒ地位斯ノ如シ然ラハ其實質如何

約束手形トハ特定ノ金額ヲ特定ノ時取^及ヒ特定ノ地ニ於テ特定ノ人ニ支拂フコトヲ約スル証券ナリ

約束手形ノ意

所謂特定ノ金額ハ之ヲ手形金額ト謂ヒ特定ノ時ハ之ヲ満期日ト謂ヒ特定ノ地ハ之ヲ支拂地ト稱ス

第四百三十五條 約束手形ニ署名シタル者ハ其約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

(釋義)

約束手形ハ講學上所謂法律上ノ指圖証券ニシテ振出人カ明カニ裏書禁止ノ旨ヲ記入スルニ非サレハ假令記名式ナルトキト雖モ裏書讓渡ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(第四五五條準用參觀)即チ指圖文句記載セラレサル約束手形ト雖モ振出人カ爲セシ裏書禁止ノ明記ナキ以上ハ法律上裏書讓渡ヲ爲シ得ルモノナリ斯ノ如ク約束手形ハ多數ノ人ノ間ニ轉帳流通スヘキモノナレハ何人ト雖モ約束手形ニ署名シタル者ハ必ス其約束手形ノ文言ニ

約束手形署名者ノ責任

第一總則 第四百三十五條

九

署名ノ意義

記名捺印
署名

從ヒ責任ヲ負擔スヘキモノト爲ササルヘカラス若シ否ラスシテ
 約束手形以外ノ事由ヲ以テ約束手形ニ記載セラレタル文言ニ對
 抗シ之ヲ擊破シ得ルモノトセハ約束手形ノ信用ハ地ニ墜テ遂ニ
 其流通ヲ杜絶スルニ至ルヘシ是レ本條ノ明規アル所以ナリトス
 署名トハ自署ノ義ナリ從テ活版其他印刷方法ニ依ル記名ハ署名
 ニ非サルナリ署名ハ自署ヲ要スルヤ否ヤニ付キテハ異論アリタ
 ルモ今日ニ於テハ自署ナルコトニ疑ヲ插ム餘地ナキニ至レリ然
 リト雖モ署名ハ自署ノ義ナリトセハ大銀行ノ支配人ノ如キ事務
 ノ繁忙其他種々ノ障礙ニ依リテ到底手形行爲ヲ爲スコト能ハサ
 ルヘシトノ理由ニ依リ遂ニ明治三十三年法律第十七號ヲ以テ商
 法中署名スヘキ場合ニ於テハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルコト

約束手形上
ノ債權債務

ヲ得ト爲セリ余輩ハ署名ハ自署ナリトノ說ヲ主張スルト同時ニ
 記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルコトヲ得ト爲スノ法律ノ廢止ヲ希
 望スルモノナリ論者曰ク署名ニシテ自署ヲ要ストセハ遂ニ手形
 行爲ヲ爲スコト能ハサル場合アリ從テ記名捺印ヲ以テ之ニ代フ
 ルコトヲ得セシメサル可カラスト是レ實ニ其一ヲ知テ未タ其二
 ヲ知ラサルモノト謂ハサルヘカラス抑モ約束手形ニ自署スルコ
 ト能ハサル場合ニ於テハ隨時代理人ヲシテ手形行爲ヲ爲サシム
 ルコトヲ得ヘシ即チ代理人ヲシテ本人ノ爲メニスルコトヲ記載
 シテ自署セシムレハ可ナリ何ヲ苦ンテカ記名捺印ヲ用ユルコト
 ヲ要センヤ

(理論) 本條ノ規定ハ約束手形上ノ債權債務ハ講學上所謂証券

ハ証券的債
權債務ナリ

的債權債務ナルコトヲ確認セシモノナリ証券的債權債務トハ證
券ニ記載シタル文言カ善意ノ取得者ノ利益ノ爲メニ絶對的ノ決
定力ヲ有シ其文言ニ對シテ反證ヲ許ササルモノヲ云フ約束手形
上ノ債權債務ハ証券的債權債務ナルコトヲ明ニセンカ爲メニ之
ヲ普通ノ證書ニ依リテ證明セラル、債權債務ト對照比較シテ說
明スヘシ

例之ハ普通ノ貸金證書ニ依リテ證明セラル、債權債務ト其證書
トノ關係ヲ見ルニ其債權債務ト證書トハ決シテ分離シ得ヘカラ
サルモノニ非スシテ債權債務ハ證書ノ外ニ獨立シテ成立シ從テ
債權債務ハ證書ノミニ由リテ決定スヘキモノニ非ス故ニ其債權
債務ノ範圍ハ證書ニ記載セラル、文言ト異ナルコトヲ得ヘキモ

約束手形上
ノ代理署名

ノナリ反之証券的債權債務タル約束手形上ノ債權債務ニアリテ
ハ約束手形ナル證券ハ債權債務ノ成立ニ必要ニシテ約束手形上
ノ債權債務ハ只約束手形ナル證券ニ依リテノミ成立スルコトヲ
得ルモノナリトス

第四百三十六條 代理人カ本人ノ爲メニスルコト
ヲ記載セスシテ約束手形ニ署名シタルトキハ本人
ハ約束手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

(釋義) 本條ハ代理署名ニ付キ規定スルモノニシテ約束手形行
爲ハ要式的行爲ナルコトヲ確認セシモノナリ前條ニ於テ説明セ
シ如ク約束手形上ノ債權債務ハ所謂証券的債權債務ニシテ約束

手形ナル證券ニ依リテノミ成立スルモノナレハ約束手形ナル證券ニ明記セラレサル事項ハ他ニ如何ナル明確ノ意志表示アルモ所謂約束手形上ノ行爲ハ成立スルモノニ非ス從テ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ約束手形面ニ記載セスシテ約束手形ニ署名セシトキハ本人ハ毫モ約束手形上ノ責任ヲ負擔スルコトナクシテ其代理人ノミ約束手形上ノ責任ヲ負擔スルモノナリトス即チ代理人カ約束手形上ノ行爲ヲ爲サント欲スルトキハ必ス其約束手形面ニ自己ハ本人某ノ代理人タル旨ヲ明記セサルヘカラス若シ自己ハ代理人トシテ手形行爲ヲ爲ス旨ノ明記ナキトキハ約束手形面以外ニ於テ代理ニ由ルモノナルコトノ証據ハ如何ニ明確ナルニモ拘ハラズ約束手形上ノ行爲(例之ハ約束手形ノ振出、裏書、

保證ノ如シ)ハ代理人其者ノ行爲トシテ効力ヲ生スルニ過キサレモノトス

(理論) 約束手形上ノ債權債務ハ證券的債權債務ニシテ約束手形上ノ行爲ハ要式的行爲ナリトスレハ本條ノ如キ明文ノ規定ヲ要セスト爲ス者アラン然リト雖モ現行商法第二百六十六條ニ於テハ商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ其行爲ハ本人ニ對シテ其効力ヲ生スヘキモノナリト規定シ而シテ約束手形ニ關スル行爲ハ絕對的商行爲ナルコトハ商法第二百六十三條第四號ノ明規スル所ナルカ故ニ若シ本條ノ規定ナキトキハ第二百六十六條ニ於ケル代理ニ關スル商行爲ノ原則カ約束手形行爲ニ適用セラレ代理人カ約束手形面ニ代理ナル旨ヲ

明記セサルモ其行為カ尙ホ本人ニ對シテ効力ヲ生スヘキモノト爲ササルヲ得サルニ至ル虞アリ是レ立法者カ特ニ本條ヲ規定セシ所以ナリ

偽造變造約束手形

第四百三十七條 偽造又ハ變造シタル約束手形ニ署名シタル者ハ其偽造又ハ變造シタル約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ
變造シタル約束手形ニ署名シタル者ハ變造前署名シタルモノト推定ス

偽造者、變造者及ヒ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ偽

造又ハ變造シタル約束手形ヲ取得シタル者ハ約束手形上ノ權利ヲ有セス

約束手形偽造ノ場合

(釋義) 本條ハ偽造變造ノ約束手形ニ付キ規定ス約束手形ノ偽造トハ約束手形上ノ署名カ眞實ナラサル場合ニシテ約束手形ノ變造トハ約束手形ノ要部カ變更セラレタル場合ヲ云フ今左ニ偽造ノ場合ト變造ノ場合トヲ區別シテ説明セント欲ス
第一 約束手形偽造ノ場合 例之ハ甲ナル不正漢アリ乙ノ實業界ニ信用隆々タルヲ奇貨トシ乙ノ氏名ヲ偽ハリテ約束手形ヲ振出シタル場合ニ於テ乙ハ此偽造約束手形ノ爲メニ毫モ約束手形上ノ債務ヲ負担セサルコトハ勿論ナリト雖モ若シ其偽造約束手

形ノ受取人丙カ丁ニ專書讓渡ヲ爲シタル場合ニ於テ振出人トシテ偽署セラレタル乙ハ約束手形上ノ債務ヲ負擔セサルニモ拘ラス丙ハ裏書讓受人タル丁及ヒ其後者ニ對シテ約束手形裏書人トシテ償還債務ヲ負擔セサルヘカラス又戊カ丙ノ償還債務ノ保證債務ヲ負擔シタル場合ニ於テハ丙ト同シク償還債務ヲ負擔セサルヘカラス(第四九七條準用參觀)是レ本條第一項ニ於テ偽造シタル約束手形ニ署名シタル者ハ其偽造シタル約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フト規定セシ所以ナリ

第二 約束手形變造ノ場合 變造シタル約束手形ニ署名シタル者ハ其變造シタル約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負擔スルコトハ偽造シタル約束手形ニ署名シタル場合ニ同シ是ニ於テカ一ノ

困難ナル問題ヲ生ス即チ變造シタル約束手形ニ存在スル署名ハ變造前ニ爲シタルモノナルヤ將タ變造後ニ爲シタルモノナルヤ是ナリ蓋シ變造約束手形ニ存在スル署名ニシテ變造前ニ署名セラレタルモノトセハ變造シタル約束手形ニ署名シタル者ニ非サルカ故ニ變造シタル約束手形ノ文言ニ從ヒ責任ヲ負フコトナシ反之變造後ニ署名シタルモノトセハ變造シタル約束手形ニ署名シタル者ナレハ其變造約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フコトトナルヘシ而シテ其變造ニシテ手形ノ要素ニ關係スルトキハ署名者ハ全ク約束手形上ノ債務ヲ負擔セサルコトアルヘク或ハ其反對ニ全然約束手形上ノ債務ヲ負擔スルコトアルヘシ然ルニ其署名ハ變造前ニ爲サレタルヤ變造後ニ爲サレタルヤノ事實ヲ決

變造前署名ノ推定

定スルハ極メテ困難ニシテ殆ト不能ノ事項ニ屬ス然カモ此困難ニシテ殆ト不能ニ屬スル事實ノ決定カ署名者ノ權利義務ノ有無若クハ其範圍ヲ斷定スル唯一ノ標準トナルモノナレハ立法者ハ本條第二項ニ於テ法律上ノ推定ヲ明規シ變造シタル約束手形ニ署名シタル者ハ變造前署名シタルモノト推定セリ故ニ約束手形ノ權利者ニシテ變造約束手形ニ存在スル署名ハ變造後ニ署名シタルモノナリ從テ其署名者ハ變造約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負擔スヘキモノナルコトヲ主張セント欲セハ變造後ニ署名セラレタルモノナルコトヲ自ラ證明シテ法律ノ推定ヲ擊破セサルヘカラス

約束手形ニ署名シタル者ハ縱令ヒ其約束手形カ偽造又ハ變造セ

偽造變造約束手形ニ關スル無權利者

ラレタルモノナル場合ト雖モ其約束手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負擔スヘキコトハ本條第一項ノ明規スル所ニシテ此規定アル所以ハ他ナシ因リテ以テ約束手形ノ善意ノ取得者ヲ保護シ其ノ流通ヲ圓滑ナラシムル趣旨ニ出テタルモノナリ然ルニ偽造者變造者ハ勿論惡意又ハ重大ナル過失ニ依リ偽造又ハ變造シタル約束手形ヲ取得シタル者ハ孰レモ約束手形ノ偽造又ハ變造セラレタル事實ヲ知り若クハ知ラサル可カラサルモノナレハ此等ノ者ニ對シテハ偽造又ハ變造約束手形ノ署名者ヲシテ責任ヲ負擔セシムルノ必要ナシ是レ本條第三項ノ規定アル所以ニシテ偽造者變造者及ヒ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ偽造又ハ變造シタル約束手形ヲ取得シタル者ハ約束手形上ノ權利ヲ有セサルモノト爲セ

無能力者カ
約束手形ヨリ
生シタル
債務ヲ取消
シタル場合

第四百三十八條 無能力者カ約束手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ約束手形上ノ權利義務ニ影響ヲ及ボサス

(釋義) 本條ハ約束手形上ノ債權債務ハ各獨立シテ成立シ獨立シテ其効力ヲ有スルモノナルコトヲ規定セシモノナリ而シテ本條ニ於テ無能力者カ約束手形ヨリ生シタル債務ヲ取消スト明規スルモ語辭正確ヲ欠クモノニシテ無能力者カ約束手形上ノ行爲ヲ取消シタル結果トシテ其行爲ヨリ生シタル債務カ取消サルルモノト解セサルヘカラス

無能力者ノ意義如何ハ之ヲ民法ニ依リテ決セサルヘカラス民法ニ於テ無能力者ト稱スル者四種アリ第一未成年者第二禁治産者第三準禁治産者第四妻是ナリ而シテ此等ノ無能力者ハ皆總テノ約束手形上ノ行爲ヲ取消シ得ヘキモノニ非ス左ニ區別シテ之ヲ説明スヘシ

第一 未成年者 未成年者カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ約束手形上ノ行爲ヲ爲シタルトキハ其約束手形ヲ振出シタルト裏書讓渡ヲ爲シタルト又保証ヲ爲シタルトヲ間ハス凡テ約束手形上ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ヘシ(民法第四條參觀)

第二 禁治産者 禁治産者カ爲シタル約束手形上ノ行爲ハ凡テ之ヲ取消スコトヲ得(民法第九條參觀)

未成年者

禁治産者

第三 准禁治産者 准禁治産者カ保佐人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル總テノ法律行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得ルモノニ非スシテ取消シ得ヘキ行爲ノ種類ハ民法第十二條第一項ニ之ヲ列舉シ其第二號ニ依レハ借財又ハ保証ヲ爲スニハ保佐人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルカ故ニ准禁治産者カ保佐人ノ同意ヲ得スシテ約束手形上ノ保証ヲ爲シタルトキハ勿論約束手形ヲ振出シタル場合ニ於テハ其保証又ハ振出ハ之ヲ取消シ得ルモノトス蓋シ約束手形ノ振出ハ振出人ヲシテ直接ニ金錢債務ヲ負擔セシムルモノニシテ民法第十二條第一項第二號ニ所謂借財ヲ爲スモノナレハナリ

第四 妻 妻モ亦准禁治産者ノ如ク夫ノ許可ヲ得スシテ爲シタル總テノ法律行爲ヲ取消スコトヲ得ルモノニ非スシテ取消シ得

ヘキ行爲ノ種類ハ民法第十四條ニ列記スル所ナリ而シテ此列記ニ依レハ准禁治産者ト同シク夫ノ許可ヲ得スシテ約束手形ヲ振出シ又ハ約束手形上ノ保証ヲ爲シタル場合ニ於テ其振出又ハ保証ハ之ヲ取消スコトヲ得ルモノトス

以上説明セシ所ニ依リ無能力者カ約束手形上ノ行爲ヲ取消シ其結果トシテ約束手形上ノ債務カ取消サレタル場合ニ於テモ約束手形ノ他ノ署名者ノ權利義務ニハ毫モ何等ノ影響ヲ及ホスモノニ非ス例之ハ未成年者甲カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ乙ニ對シテ約束手形ヲ振出シ乙カ之ヲ丙ニ裏書讓渡ヲ爲シタリ而シテ其後甲ハ約束手形ノ振出ヲ取消シタル場合ニ於テモ其取消ハ乙丙ノ權利義務ニハ何等ノ影響ヲモ及ホサスシテ恰モ甲ノ振出

行爲カ取消サレサル場合ト異ナラサルモノトス

(理論)本條ハ約束手形上ノ行爲ハ獨立シテ成立スルモノナリト
ノ原則ヲ認メタルモノトス即チ約束手形上ノ債權債務ハ相互ニ
關係ヲ有セスシテ獨立シテ成立シ獨立シテ其效力ヲ有スルモノ
ナリ從テ一ノ約束手形上ノ行爲カ取消ニ因リテ其效力ヲ失フモ
或ハ無効ナルモ他ノ約束手形上ノ行爲ハ之カ爲メニ害セラレ、
コトナシ而シテ約束手形上ノ行爲ハ各獨立シテ其效力ヲ發生ス
ト雖モ形式上完備セル約束手形ノ存在ヲ前提條件ト爲スモノナ
ルコト勿論ナリトス故ニ例之ハ自己宛約束手形則チ自己ヲ受取
人トシテ振出シタル約束手形(商法第四四七條參觀)若クハ手形金
額五圓ノ約束手形ヲ無記名式ニテ振出シタル場合(第四四九條準

用參觀)ノ如キ共ニ其形式ニ於テ法律ノ定ムル要件ヲ具備セサル
モノナレハ爾後其約束手形ニ對シテ爲シタル手形行爲ハ總テ成
立セサルモノトス然リト雖モ約束手形ハ形式ヲ以テ論スルモノ
ナレハ苟クモ其形式ニ於テ欠クル所ナキトキハ縱令ヒ其形式カ
事實ニ符合セサルモ尙ホ完全ナル約束手形上ノ權利關係ヲ發生
スルノ基礎タルヲ妨クス故ニ例之ハ第五百廿五條第五號ハ振出
ノ年月日ヲ要件ト爲スカ故ニ年月日ノ記載アレハ實際約束手形
面ニ記載セラレタル年月日カ事實即チ振出サレタル年月日ト相
違スルモ毫モ差支ナキモノナリトス

(判例) 大審院判決(明治三十四年(オ)第二百三十八號)約束手形振
出ノ件ニ依レハ約束手形ノ振出ハ振出人ヲシテ直接ニ債務ヲ負

擔セシムルモノニシテ民法第十二條第一項第二號ニ所謂借財ヲ爲スモノナリトス

第四百三十九條 約束手形法ニ規定ナキ事項ハ之ヲ約束手形ニ記載スルモ約束手形上ノ効力ヲ生セス

約束手形所
載事項カ効
力ヲ生セサ
ル場合

(釋義) 本條ハ約束手形所載ノ事項カ約束手形上ノ効力ヲ生セサル場合ニ付キ規定セシモノナリ抑モ約束手形ハ所謂法律上ノ指圖証券ニシテ多數ノ人ノ間ニ轉帳流通スルモノナレハ其所載事項ニハ自ラ一定ノ制限ナカルヘカラス若シ約束手形面ニ記載セラレタル事項ハ總テ約束手形上ノ効力ヲ有スヘキモノトセハ約束手形授受ノ際之ヲ精査檢閲セサルヘカラサル必要ヲ生シ其

重要ナラサ
ル附記

極遂ニ約束手形ノ流通ヲ杜絶スルニ至ルヘシ是レ本條ノ規定アル所以ニシテ約束手形法ニ規定ナキ事項ハ縱令ヒ之ヲ約束手形ニ明記スルモ毫モ約束手形上ノ効力ヲ發生セサルモノトス本條ハ舊商法第七百七條ト其趣旨ヲ同クスルモノニシテ同條ハ規定シテ曰ク手形上ノ重要ナラサル附記ハ法律上ノ要件ニ適スル手形ノ旨趣ノ効力ヲ妨クルコトナク又爲替上ノ義務ヲ生セシムルコトナシト然ルニ世上往々約束手形上ノ要件ニ違反抵觸スル事項ヲ記載シタル場合ニ於テモ尙ホ是レ手形上ノ重要ナラサル附記ナリトシ其記載ハ同條ニ依リテ單ニ約束手形上ノ効力ヲ生セサルニ止マリテ約束手形其物ハ有效ナリト爲スモノアリト雖モ是レ思ハサルノ甚シキモノニシテ斯ノ如キ約束手形ハ概シ

テ無効ナル場合多シ今參考ノ爲メニ舊商法第七百六條ヲ掲クヘシ曰ク法律上ノ要件ヲ掲クサル手形又ハ其要件ト共ニ違法ノ事項ヲ掲クタル手形又ハ旨趣カ互ニ牴觸シ其牴觸ヲ法律ノ許セル方法ヲ以テ取除クコトヲ得サル手形ハ無効タリト故ニ所謂重要ナラサル附記ニ關シテハ約束手形使用者ハ十分注意セサルヘカラス

第四百四十條 約束手形ノ債務者ハ約束手形法ニ規定ナキ事由ヲ以テ約束手形上ノ請求ヲ爲ス者ニ對抗スルコトヲ得ス但直接ニ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ハ此限ニ在ラス

約束手形上ノ請求ニ對シテ得ヘキ事由

(釋義)

本條ハ約束手形ヒノ請求ヲ爲ス者ニ對抗シ得ヘキ事由ニ付キ規定セシモノナリ抑モ約束手形債務ノ性質ノ特殊ナル要點ハ嚴正ナル規定ニ依ルヘキモノナリト謂フニ在リ即チ嚴格ナル規定ノ支配ヲ受クルモノナルコト是ナリ而シテ約束手形債務ノ嚴正ナルコトハ約束手形債務者カ約束手形債權者ニ對抗シ得ヘキ抗辨事由ノ制限ニ於テ其著シキコトヲ發見スヘシ本條ハ實ニ此點ニ付キテ規定セシモノナリ

約束手形債務者カ約束手形上ノ權利ヲ行フ者ニ對シテ主張シ得ヘキ抗辨事由ハ他ノ債務關係ニ於ケル場合ト同シカラス其對抗シ得ヘキ事由ハ左ノ二種類ニ限ルモノトス

第一 約束手形法上特ニ規定アル事由

第二 直接ノ抗辨即チ約束手形上ノ債務者ヨリ直接ニ約束手形上ノ債權者ニ對抗シ得ヘキ事由

約定手形法ニ規定アル事

約束手形法上特ニ規定アル事由ヲ列舉スレハ左ノ如シ

- (一) 約束手形ノ形式ヲ具備セサルコト(第五二五條)
- (二) 裏書ニ間斷アルコト(第四六四條準用)
- (三) 無担保ノ裏書(第四五九條準用)
- (四) 一部ノ支拂(第四八四條準用)
- (五) 呈示期間ヲ經過シタルコト(第五二七條)
- (六) 約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保全手續ニ欠缺アルコト(第四八二條第二項第四八七條第二項第四八八條第二項第四九〇條第二項準用及ヒ第五二八條第二項)

直接ニ對抗シ得ヘキ事由

(七) 約束手形上ノ權利ノ時効(第四四三條準用)

約束手形上ノ債務者ヨリ直接ニ約束手形上ノ債權者ニ對抗シ得ヘキ事由トハ例之ハ買主カ代金支拂ニ代ヘテ約束手形ヲ振出シタル場合ニ於テ買主ハ賣主ノ約束手形金額支拂ノ請求ニ對シテ物品ノ不買ナリシコト若クハ物品ノ引渡ナキコトヲ理由トシテ約束手形金額ノ支拂ヲ拒ムカ如キ或ハ亦詐欺若クハ強迫ニ因リテ約束手形ヲ作成シタル債務者ハ詐偽者強迫者ニ對シテハ詐欺強迫ヲ對抗シテ約束手形振出行爲ヲ取消シ從テ約束手形金額支拂ヲ拒ムコトヲ得ルカ如シ然シ其約束手形カ第一例ニ於テハ賣主以外ノ者第二例ニ於テハ詐欺者強迫者以外ノ者ニ轉帳シタルトキハ此等ニ對シテハ右ノ事由ヲ對抗スルコトヲ得サルコト勿

論ナリトス

手形ノ嚴正

(理論) 本條ハ講學上所謂手形ノ嚴正若クハ手形ノ強力ニ付キ規定セシモノニシテ約束手形ノ形式的嚴正トハ約束手形上ノ債權ノ執行力迅速ニシテ且ツ簡便ナルヲ謂ヒ換言スレハ爲替訴訟ニ依リテ權利ヲ主張シ得ルコトヲ謂ヒ民事訴訟法第四九五條第四九六條參觀) 約束手形ノ實質的嚴正トハ約束手形上ノ債務者カ債權者ニ對抗スルコトヲ得ル事由カ法律上制限セララルヲ謂フモノニシテ本條ノ規定即チ是ナリ

約束手形返還ノ請求

第四百四十一條 何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ約束手形ヲ取得シタル者ニ對シ其約束

手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

(釋義) 本條ハ約束手形ノ取得者ニ對シ其約束手形ノ返還ヲ請求シ得ヘキ場合ニ付キテ規定セシモノナリ蓋シ約束手形ハ流通証券ニシテ多數ノ人ノ間ニ轉讓スヘキ性質ノモノナレハ何人カ之ヲ取得スルモ猥リニ其返還ヲ請求シ得ヘキモノニ非ス若シ其返還ノ請求ヲ爲スコトヲ容易ニ許容セハ約束手形ノ信用ハ地ニ墜チ其極流通ノ杜絶ヲ來タスノ虞ナシトセス是レ本條ニ於テ返還請求ノ場合ヲ制限スル所以ニシテ約束手形ハ何人ノ手ニ渡ルモ其返還ノ請求ヲ爲シ得ヘキモノニ非スシテ只惡意ニ因リテ約束手形ヲ取得シタル者及ヒ重大ノ過失ニ因リテ約束手形ヲ取得シタル者ニ對シテノミ返還ノ請求ヲ爲シ得ルモノナリトス

ノ約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ノ手續ヲ爲スヘキ場所

第四百四十二條 約束手形ノ支拂ヲ求ムル爲メニ
スル呈示拒絕證書ノ作成其他約束手形上ノ權利ノ
行使又ハ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ
行爲ハ其營業所若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ
居所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但其者ノ承諾アル
トキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ妨ケス
利害關係人ノ營業所又ハ居所カ知レサルトキハ拒
絶證書ヲ作ルヘキ公証人又ハ執達吏ハ其地ノ官署
又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ要ス若シ問合ヲ爲ス

ノ約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ノ手續ヲ爲スヘキ場所ノ種類

モ營業所住所又ハ居所カ知レサルトキハ其役場又
ハ官署若クハ公署ニ於テ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得

(釋義)

本條ハ約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ノ手續ヲ爲ス

ヘキ場所ニ付キ規定セシモノナリ而シテ約束手形上ノ權利ノ行

使又ハ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ノ種類如何

一 約束手形ノ呈示(第四八二條第四八三條準用第五二七條)

二 拒絕證書ノ作成及ヒ通知ノ發送(第四八〇條第四八七條第

四八八條第四九〇條第五〇八條準用第五二八條)

以上ノ行爲ハ必ス利害關係人ノ營業所若シ營業所ナキトキハ其
住所又ハ居所ニ於テ爲スコトヲ要シ此以外ノ場所ニ於テ以上ノ

行為ヲ爲スモ無効ナリトス只例外トシテ利害關係人カ營業所住
 所又ハ居所以外ノ場所ニ於テ以上ノ行為ヲ爲スコトヲ承諾シタ
 ルトキニ限り有效ナリトス
 拒絕證書ハ約束手形ノ所持人ノ請求ニ依リ公證人又ハ執達吏之
 ヲ作ルモノナリ(第五一四條準用)而シテ公證人又ハ執達吏ハ本條
 第一項ノ規定ニ依リ利害關係人ノ營業所住所又ハ居所ニ於テ若
 シ其者ノ承諾アルトキハ其他ノ場所ニ於テ作成スヘキモノナリ
 然ルニ利害關係人ノ營業所住所又ハ居所カ知レサルトキハ拒絕
 證書ヲ作ルヘキ公證人又ハ執達吏ハ其地ノ官署(例之ハ警察署)又
 ハ公署(例之ハ市町村役場)ニ問合ヲ爲シ尙ホ分明ナラサルトキハ
 公證人執達吏ノ役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ拒絕證書ヲ作ル

約束手形上
 ノ債權ノ時
 效

コトヲ得ヘシ

第四百四十三條 約束手形ノ振出人ニ對スル債權
 ハ滿期日ヨリ三年所持人ノ其前者ニ對スル償還請
 求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ六ヶ月裏書人ノ
 其前者ニ對スル償還請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨ
 リ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

(釋義) 本條ハ約束手形上ノ債權ニ關スル時効ニ付キ規定ス抑
 モ商行為ニ因リテ生シタル債權ノ時効ハ通則トシテ五年ナルコ
 トハ商法第二百八十五條ノ規定スル所ナリト雖モ約束手形ナル
 モノハ極メテ活潑ナル商業取引ノ爲メニ使用セラレ約束手形上

支拂拒絕證
書ヲ作成セシ
メザリシ
場合ノ時効

ノ債務者ハ極メテ峻嚴ナル債務ヲ負擔スルモノナルカ故ニ通常ノ時効ニ一任シ難キモノアリ是レ本條ニ於テ短期時効ヲ設クタル所以ナリ左ニ債權ノ種類時効ノ起算點及ヒ其期間ヲ列擧スヘシ

- 一 約束手形ノ振出人ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ三年ヲ經過スレハ時効ニ依リテ消滅ス
- 二 約束手形ノ所持人カ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

茲ニ一問題アリ即チ此短期時効ノ規定ハ拒絕證書ノ作成ヲ免除シタル者ニ對スル償還請求權ニモ適用セララルルヤ否ヤ是ナリ而

如何

シテ本問ニ對シテハ二箇ノ說アリ

甲說 本條ハ所持人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スト明規スルカ故ニ支拂拒絕證書作成免除アリタルカ爲メニ之ヲ作ラサリシ場合ニ於テハ支拂拒絕證書作成ノ日ナルモノ無キカ故ニ本條ヲ適用スルニ由タク結局商行爲ヨリ生シタル債權ノ一般ノ消滅時効ヲ規定セル商法第二百八十五條ヲ適用シ所持人ノ償還請求權ハ五年ノ時効ニ因リテ消滅シ且其起算點ニ付キテモ亦一般ノ原則ニ依リ權利ヲ行使スルコトヲ得ル時(民法第六十六條參觀)即チ振出人ニ對シ支拂ヲ請求シタルモ其支拂ヲ受クザリシ時ヨリ時効ノ期間ヲ起算スヘキモノトス

乙說 支拂拒絶證書作成ノ免除アリタルカ爲メ之ヲ作ラザリシ
 場合ニ於テモ尙ホ本條ヲ適用スヘキモノニシテ即チ約束手形ノ
 所持人カ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絶證書ヲ作成スヘ
 カリシ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅スヘ
 キモノナリ而シテ支拂拒絶證書作成ノ期間ハ滿期日又ハ其後二
 日內ナレハ此場合ニ於ケル時効ノ起算點ハ滿期日後第二日ヨリ
 進行スヘキモノナリ抑モ所持人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ
 支拂拒絶證書作成ノ免除アリタル場合ト否トニ因リテ其消滅時
 効ノ期間ヲ異ニスヘキ理由ナク等シク六ヶ月ノ時効ニ因リテ其
 權利ヲ失フヘキモノト解セサルヘカラス蓋シ支拂拒絶證書作成
 ノ免除ハ支拂拒絶證書ニ依リテ支拂ヲ受ケザリシコトヲ證明ス

不當利得ノ
 償還請求權

ルノ責任ヲ免除スルニ止マルモノニシテ之カ爲メニ所持人ノ權
 利ニ消長ヲ來タスヘキモノニ非サレハナリト
 三 約束手形裏書人カ其前者ニ對スル償還請求權ハ償還ヲ爲シ
 タル日ヨリ六ヶ月ヲ經過セシトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第四百四十四條 約束手形ヨリ生シタル債權カ時
 效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ
 所持人ハ振出人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於
 テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

(釋義) 本條ハ所持人カ振出人ニ對シテ有スル不當利得ノ償還
 請求權ニ付キ規定ス約束手形ノ所持人カ法定ノ期間内ニ其權利

ヲ行使セザリシカ爲メ即チ時効ニ罹リタルトキハ約束手形上ノ債權ハ全ク消滅シ其債務者ハ亦全ク約束手形上ノ債務ヲ免カルルモノナリ是レ約束手形ノ效力ヲ明確ナラシメ其流通ヲ容易ナラシムルカ爲メ必要ナリト雖モ或ハ所持人ニ對シテ苛酷ニ失スルコトアルヲ免カレス是レ本條ノ明規アル所以ニシテ約束手形ノ所持人ハ振出人ニ對シテハ振出人カ約束手形ヲ振出シタルニ因リテ受ケタル利得ノ償還ヲ請求スルコトヲ得ルモノトセリ

約束手形ノ振出人ハ振出ニ因リテ約束手形金額支拂ノ絕對的債務ヲ負擔スル者ナレハ振出人ニ對スル債權カ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅スヘキ場合ヲ生セサルカ如シト雖モ唯一ノ例外アリ即チ第四百九十條準用ノ場合はナリ此場合ニ於テモ所持人ハ振出人

ニ對シテ所謂不當利得ノ償還請求權ヲ有スルモノトス

本條ニ規定スル不當利得ノ訴權ハ約束手形上ノ債權カ消滅シタルトキ即チ約束手形行爲ノ法律上ノ效力カ消滅シタルトキ始メテ發生スルモノナレハ約束手形上ノ債務ノ如ク約束手形ニ記載シタル文言ニ從ヒ振出人ヲシテ其責ニ任セシムルコト能ハスシテ所持人ハ振出人カ約束手形ヲ振出シタルカ爲メニ對價ヲ得タルコトヲ證明セサルヘカラス而シテ其證明ハ極メテ困難ナル場合多キコトヲ豫想セサルヘカラス

(理論) 所謂不當利得ノ償還請求權ノ性質ヲ案スルニ此權利ハ約束手形上ノ權利ニ非ス此法律關係ハ約束手形關係ニ非ザルナリ然リト雖モ民法ノ原則ニ依ル不當利得ノ償還請求權トハ其性

質ヲ異ニス即チ民法第七百三條ニ依レハ不當利得ノ償還請求權ハ被請求者カ法律上ノ原因ナクシテ請求者ノ財産又ハ勞務ニ因リ利益ヲ受ク之カ爲メニ請求者ニ損失ヲ及ホシタル場合ニ發生スト雖モ本條ニ所謂不當利得ノ償還請求權ハ之ニ異ナリテ振出人ハ法律上ノ原因ナクシテ利益ヲ享受スルモノニ非スシテ本條ノ規定ノ結果トシテ利得スルモノナリ亦振出人ハ所持人ノ財産又ハ勞務ニ因リテ利益セシニ非サルノミナラス之カ爲メニ所持人ニ損失ヲ及ホシタルモノニ非サルナリ故ニ本條ハ特殊ノ性質ヲ有スル一種ノ權利ヲ規定セシモノナリトス

第二 振出

約束手形ハ振出ニ因リテ成立シ而シテ商業社會ニ於テ紙幣ト同一ノ作用ヲ爲サシムルニ付キテハ自ラ法律ニ於テ一定ノ形式ヲ定ムルノ必要アリ從テ其要件ノ記載不明ナルカ或ハ其記載事項互ニ抵觸スルカ或ハ亦塗抹挿入等ノ爲メ約束手形ノ要部ヲ抹消變更スレハ自ラ約束手形トシテノ存在ヲ認ムルコト能ハサルニ至ル是レ約束手形ノ振出人カ最モ其發行ヲ慎シマサル可カラサル所以ナリ

約束手形ノ
形式的要件

第五百二十五條 約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ

振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字

- 二 一定ノ金額
- 三 受取人ノ氏名又ハ商號
- 四 單純ナル支拂ノ約束
- 五 振出ノ年月日
- 六 一定ノ滿期日
- 七 振出地

(釋義) 本條ハ約束手形ニ必要ナル記載事項即チ約束手形ノ形式的要件ニ付キテ規定スルモノニシテ左ニ各事項ニ付キ詳細ナル説明ヲ試ミント欲ス

手形文句

第一 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字

約束手形タルコトヲ示スヘキ文字即チ所謂手形文句ハ我舊商法及ヒ英佛手形法共ニ之ヲ以テ約束手形ノ要件ト爲ササリシト雖モ現行商法ハ獨逸手形條例等ニ倣ヒ之ヲ以テ約束手形ニ記載スヘキ必要事項ト爲セリ抑モ約束手形ハ絶對的債權ヲ表示スル證券ニシテ之ニ署名スル者ハ嚴格ナル義務ヲ負擔スルカ故ニ之ヲ作成スルニ當リテハ特ニ約束手形ナルコトヲ表示シ一方ニ於テハ爾後之ニ署名スル者ニ注意ヲ與ヘ他方ニ於テハ自己カ約束手形法ノ規定ニ從ヒ嚴格ナル義務ヲ負擔スルコトヲ明ニセサルヘカラス是レ手形文句ヲ以テ要件ト爲セシ所以ナリ

手形文句ハ如何ナル程度マテ其約束手形タルコトヲ示スヘキ文

字ト看做スコトヲ得ルヤ蓋シ約束手形ナル四個ノ漢文字ヲ書シタル場合ニハ何等ノ疑義ヲ生セサルハ勿論ナリト雖モ必シモ約束手形ノ四文字ヲ記載スルニ及ハスシテ片假名平假名ニテ之ヲ記載シ又ハ外國語ニテ記載シタル場合モ亦有効ナリトス
手形文句記載ノ場所ニ付キテハ何等ノ規定ナキカ故ニ必シモ之ヲ表題ノ如ク約束手形ノ首部ニ記載スルヲ必要ト爲サス之ヲ文言中ニ記載スルモ亦可ナリト解釋セサルヘカラス

一定ノ金額

第二 一定ノ金額

約束手形ニ依リテ支拂ハルヘキ金額ハ一定ナルコトヲ要ス故ニ其金額カ一定セサル約束手形ハ無効ナリトス此要件ハ總テノ立法例ノ採用スル所ニシテ所謂手形金額ト稱スルモノ即チ是ナリ

蓋シ手形金額ノ支拂ハ約束手形上ノ債權ノ目的ニシテ此一定ノ金額ヲ以テ手形債權ノ目的トナスコトハ約束手形ノ流通上極メテ必要ナルモノト云ハサルヘカラス如何トナレハ約束手形ハ經濟上ノ作用ニ於テ恰モ紙幣ニ代用セラレヘキモノナレハナリ手形金額ヲ記載スルニ當リ文字ヲ以テスルト數字ヲ以テスルトハ問フ所ニ非ス又手形金額記載ノ場所ニ付キ何等ノ規定ナキカ故ニ約束手形ノ何レノ部分ニ之ヲ記載スルモ可ナリ加之數ヶ所ニ之ヲ記載スルヲ妨クスト雖モ其數箇所ニ記載シタル金額カ牴觸スルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス
(第四百十六條準用)

(理論) 我舊商法第八百一十一條第二號ハ支拂金額但文辭ヲ以テ

受取人ノ氏
名又ハ商號

記ス可シト規定スルカ故ニ數字ノミヲ以テ手形金額ヲ記載スル
 約束手形例ヘハ金壹五參圓也若クハ金 〇〇 圓也ノ如キ共ニ無効
 ナリシモノトス約束手形法第五百二十五條第二號ニハ一定ノ金
 額トノミ規定シ其金額ヲ表示スヘキ方法ニ付キ何等ノ制限ナキ
 カ故ニ舊商法ノ如ク必シモ文辭ヲ以テ手形金額ヲ記載スルコト
 ヲ要セスシテ數字ヲ以テ之ヲ記載スルモ振出人ノ任意ナリトス

第三 受取人ノ氏名又ハ商號

約束手形ニハ受取人ノ氏名又ハ商號ヲ表示スルコトヲ要ス若シ
 約束手形ノ金額カ三十圓以上ナルトキハ受取人ヲ記載スルコト
 ナク約束手形ノ所持人ニ支拂フヘキモノト爲スコトヲ得(第四百
 四十九條準用)是レ所謂無記名式ノ約束手形ナリトス無記式ノ約

單純ナル支
拂ノ約束

束手形トハ振出人ノ記載ナキヲ謂フニ非スシテ受取人ノ記載ナ
 キモノヲ云フ約束手形ヲ無記名式トシテ發行スルニハ手形金額
 三十圓以上ナルコトヲ要スル所以ノモノハ蓋シ無記名式約束手
 形ノ金額カ少額ニ過クルトキハ約束手形債務者ノ信用如何ニ注
 意セスシテ之ヲ授受シ以テ所持人ニ損害ヲ與フルノ危険アルニ
 因ルモノナリトス

第四 單純ナル支拂ノ約束

約束手形ニ於クル支拂ノ約束ハ單純ナルコトヲ要ス單純ナル支
 拂ノ約束トハ條件附ニ非ス又ハ反對給付ヲ要スルカ如キコトヲ
 ク履行セラルヘキ約束ヲ謂フ蓋シ單純ナル支拂ノ約束ヲ以テ約
 束手形ノ要件ト爲セシハ約束手形ノ性質ヨリ流出スル當然ノ結

果ニシテ若シ或條件ノ到來ニ因リ若クハ反對給付ヲ須ツテ支拂
ハルルモノトセンカ約束手形ノ所持人ハ果シテ支拂ヲ受クルコ
トヲ得ルヤ否ヤヲ手形面ヨリ確知スルコト能ハサルカ故ニ約束
手形ハ其流通ヲ杜絶スルニ至ルヘケレハナリ

振出ノ年月
日

第五 振出ノ年月日

約束手形ノ振出サレタル年月日ヲ記載スルコトヲ要件ト爲セシ
ハ他ナシ或ハ之ニ因リテ振出人カ振出ノ當時能力者ナリシヤ否
ヤノ問題ヲ決シ或ハ振出人カ當時支拂停止中ナリシヤ否ヲ決
シ或ハ日附後確定セル期間ヲ経過シタル日ヲ以テ満期日ト爲シ
タル約束手形ニアリテハ其振出ノ年月日ハ満期日ヲ定ムル基礎
トナリ或ハ又一覽拂若クハ一覽後定期拂ノ約束手形ニアリテハ

一定ノ満期
日

其呈示期間ヲ定ムルニ必要ナレハナリ

第六 一定ノ満期日

満期日トハ債權者カ支拂ヲ請求シ債務者カ支拂ヲ爲シ得ル期日
ヲ謂フ此満期日ヲ約束手形ノ要件トシテ記載セシムル所以ハ約
束手形ノ流通上ヨリ觀察スルモ亦債權者カ約束手形上ノ權利ヲ
保全シ債務者カ其債務ヲ免カルル點ヨリ觀察スルモ極メテ必要
ナレハナリ

満期日ヲ定ムルハ當事者ノ自由ニ放任セスシテ法律ハ満期日ヲ
定ムル方法ヲ四種ニ限定ス第四百五十條準用ノ規定即チ是ナリ
而シテ約束手形ニ全ク満期日ヲ記載セサリシトキハ一覽拂ノ約
束手形トシテ有効ナリトス(第四百五十一條準用)是レ普通ノ債權

振出地

債務ト同一ノ精神ニ出テタルモノナリ

第七 振出地

振出地ノ記載ハ約束手形ノ要件ナリ從テ振出地ノ記載ナキ約束手形ハ無効ナリトス振出地ノ記載ニ關シテハ近來世論囂然タルモノアリ特ニ讀者ノ注意ヲ喚起スルノ必要ヲ見ル例之ハ約束手形振出人ノ肩書ニ日本橋區蠣殻町一丁目二番地トノミ記載シ東京ナル文字ヲ記載セス且ツ該約束手形面ニハ振出地トシテ特殊ノ記載ナキ約束手形ハ有効ナルヤ否ヤ本問題ハ是ヲ二箇ニ分解シテ説明セサルヘカラス即チ其一ハ約束手形ノ要件タル振出地ノ意義如何ニシテ其二ハ振出人ノ肩書トシテ記載セラレタル地名ハ振出地ト解スヘキヤ否ヤ是ナリ

振出地ノ義

(一)約束手形ノ要件タル振出地ノ意義如何 約束手形ノ要件タル振出地トハ同一ナル經濟的的制度及ヒ經濟的情態ノ存在スル特定ノ一地域ヲ謂フモノニシテ所謂市場ヲ指スモノナルコトハ之ヲ手形ノ沿革ニ徴シ之ヲ法文ノ解釋ニ照スモ明白ニシテ學者間更ニ異說ナキ所ナリ而シテ該約束手形ニ於テハ市場タル東京ノ記載ナク單ニ其一區分ナル日本橋區ノ記載アルニ過キサルヲ以テ直チニ市場ノ記載アリト謂フコトヲ得スト雖モ日本橋區ハ東京市内ニ在ルコトヲ推定シ得ヘキカ故ニ日本橋區ノ記載アレハ東京ナル市場ノ記載アルモノト認定シ得ヘキヤ否ヤニ關シテ甲論者ハ曰ク日本橋區ハ東京内ノ一區劃ナルコトハ最モ明瞭ナル事實ナレハ日本橋區ノ記載アレハ之ヲ以テ東京ナル市場ノ記載ア

振出人ノ肩書

ルモノト認定シテ可ナリト乙論者ハ之ニ反對シテ曰ク約束手形ハ昂モ峻嚴ナル方式ヲ必要トスル形式的証券ナレハ縱令ヒ其記載シタル日本橋區カ東京ナル市場内ニ在ルコトヲ推知シ得ヘシト爲スモ之ヲ以テ市場ノ記載アルモノト認定スルコトヲ得スト

(二)振出人ノ肩書トシテ記載セラレタル地名ハ振出地ト解スヘキヤ否ヤ

甲論者ハ曰ク明治十五年第五十七號布告爲替手形約束手形條例全十六年大藏省第八號告示手形書式全十七年第十一號布告証券印紙規則以來振出地ハ振出人ノ肩書トシテ記載セシカ故ニ此等ノ法規カ廢止セラレ現行商法カ實施セラレル今日ニ於テモ尙ホ慣習上振出人ノ肩書ニ記載セラレル地名ハ振出地ト解セサルヘ

カラスト乙論者ハ曰ク署名者ノ肩書トシテ記載シタル地名ハ必ス住所ヲ意味スル者ニシテ振出地ヲ意味スル者ニ非ラスト丙論者ハ曰ク振出人ノ肩書ニ市場ノ記載ナキニ拘ラス其記載アルモノト認定スルコトヲ得サルハ前述スルカ如シト雖モ振出人ノ肩書トシテ或市場ノ記載アル場合ニ於テ其記載カ約束手形ノ要件タル振出地ト其要件ニ非サル住所トノ兩様ニ解スルコトヲ得ル場合ニ於テハ之ヲ其要件タル振出地ヲ記載シタルモノト認定スヘキモノナリト

(判例) 東京控訴院判決(明治三十三年(子)第九七二號約束手形金請求控訴事件)

前略被控訴人ニ於テ控訴人氏名ノ肩書ニ「日本橋區鬮殼町一丁目

二番地」トアルハ本件約束手形ノ振出地ヲ記載シタルモノナリト主張スレトモ商法第五百二十五條第七ニ所謂振出地トハ一般ニ對スル獨立ノ地名ヲ指スモノニシテ即チ一定ノ地域ヲ示スモノナリ例ヘハ東京又ハ大坂ノ如シ而シテ其地域内ニアル何區若クハ何町ノ如キハ區分ノ名稱タルニ過キスシテ一般ニ對スルモノニアラサレハ單ニ之ヲ記載シタルノミニテハ振出地ヲ掲ケタルモノト云フヲ得ス故ニ本件約束手形ノ控訴人氏名ノ肩書ニ「日本橋區蠣殼町一丁目二番地」ト記載シアルモ之ヲ以テ一ノ地域ナル振出地ヲ掲ケタルモノト爲ス能ハス其他甲一號証中振出地トシテノ記載ナキヲ以テ本件約束手形ハ法律上ノ一要件タル振出地ヲ掲ケサル無効ノモノトス

右ノ判決ハ振出人ノ肩書ニ「日本橋區蠣殼町一丁目二番地」トノミ記載シ東京ナル文字ヲ記載セサルヲ以テ振出地ノ記載ナキモノト爲シ其約束手形ヲ無効ト爲スモノナリトス

第八 振出人ノ署名

約束手形ノ振出人ノ署名ハ約束手形ノ成立上最モ重要ナルモノナリ如何トナレハ之ニ依リテ約束手形ノ絶對的債務者確定スルカ故ナリ而シテ署名トハ自署ノ義ナルコト及ヒ商法中署名スヘキ場合ニ於テハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルコトヲ得ルハ既ニ述ヘタルカ如シ

以上八箇ノ事項ハ商法第五百二十五條ニ規定スル約束手形ノ要件ナリトス其他約束手形ノ成立上必要事項ニ非サレトモ相當印

振出人ノ署名

紙ノ貼付ニ付キテ茲ニ一言セサルヘカラス即チ約束手形金額五圓未滿ナルトキハ無税トシ五圓以上ナルトキハ金貳錢トス(明治三十二年法律第五十四號印紙税法及ヒ明治三十四年法律第十六號印紙税法中改正法律參觀)

支拂地ノ記
載ナキ場合

第五百二十六條 振出人カ約束手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ振出地ヲ以テ其支拂地トス

(釋義) 本條ハ約束手形ノ支拂地ニ關スル規定ニシテ約束手形ノ振出人カ約束手形ニ手形金額ノ支拂地ヲ記載セサルトキハ手形金額ノ支拂ハ如何ナル土地ニ於テ爲サルルカヲ定メサルヘカラス是レ本條ノ明規アル所以ニシテ此場合ニ於テハ其約束手形

手形金額

ノ振出地ヲ以テ支拂地ト看做セリ蓋シ約束手形金額ノ支拂ヲ爲スヘキ者即チ振出人カ特ニ支拂地ヲ記載セサレハ自己カ振出ヲ爲シタル地ニ於テ支拂ヲ爲スヘキモノト看做スヘキハ極メテ當然ノ事理ナレハナリ

第四百四十六條準用 約束手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス

(釋義) 本條ハ約束手形中金額ノ記載數個アリテ其金額カ相違セル場合ニ孰レヲ以テ手形金額ト見ルヘキカヲ規定セシモノナ

リ例之ハ

約束手形

一金壹百圓也

右金參百圓明治三十四年十二月二十五日貴殿ニ支拂可申候
斯ノ如キ約束手形ニ於テ手形金額ハ壹百圓ナルカ參百圓ナルカ
ヲ決定スルハ手形上ノ權利者義務者ニ取リテ利害ノ關係極メテ
重大ナルモノアリ而カモ之ヲ決定スルコト亦極メテ困難ナリト
ス是レ本條ノ明規アル所以ニシテ此場合ニ於テハ金壹百圓ヲ以
テ手形金額ナリトス蓋シ我國ノ約束手形書式ニ依レハ「一金幾圓」
トノ記載カ主タル部分ノ記載ナレハナリ

第四百四十九條準用 約束手形ハ其金額參十圓以

無記名式約
束手形

上ノモノニ限り之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

(釋義) 本條ハ無記名式ノ約束手形ノ振出ニ關スル制限ヲ規定
セシモノナリ無記名式ノ約束手形トハ受取人ノ氏名又ハ商號ノ
記載ナキモノヲ謂フ而シテ本條ハ手形金額三十圓以上ノモノニ
限り無記名式ト爲スコトヲ得ルモノトセリ蓋シ無記名式ノ約束
手形ハ裏書ヲ要セスシテ單ニ手形ノ交付ノミニ依リテ轉帳流通
スルモノナレハ之ヲ授受スルニ當リテ當事者ハ十分ノ注意ヲ加
フルコトヲ要ス然ルニ手形金額少額ナルトキハ授者受者共二十
分ノ注意ヲ用ユルコトヲ爲サス因リテ以テ所持人ニ損害ヲ蒙ラ
シムルノ危險尠シトセス是レ本條ノ制限規定アル所以ナリ

第四百五十條準用 満期日ハ左ニ掲ケタル種類ノ

満期日ノ種
類

一 タルコトヲ要ス

一 確定セル日

二 日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三 一覽ノ日

四 一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

(釋義) 本條ハ滿期日ノ種類ヲ限定セシモノナリ第五百二十五條第六號ニ於テハ約束手形ハ一定ノ滿期日ヲ記載スヘキコトヲ命シ本條ハ其滿期日ニハ四種類アリテ其孰レニテモ可ナルコトヲ示スモノナリトヌ

一、 確定セル日トハ明治三十四年十二月二十五日ト謂フカ如

シ

二、 日附後確定セル期間ヲ經過シタル日トハ振出ノ日附後一ヶ月若クハ二ヶ月ト云フカ如キ確定シタル期間ヲ經過シタル日ヲ謂フモノトス此種ノ滿期日カ記載セラレタル約束手形ヲ日附後定期拂ノ約束手形ト稱ス

三、 一覽ノ日トハ文字ノ如ク約束手形ヲ一覽シタル日ト謂フコトニシテ此種ノ滿期日カ記載セラレタル約束手形ヲ一覽拂約束手形ト稱ス例之ハ「一覽ノ日支拂可申候」ト記載スルカ如シ亦約束手形ニ全ク滿期日ノ記載ナギトキハ一覽ノ日ヲ以テ其約束手形ノ滿期日ト爲スハ第四百五十一條準用ノ規定スル所ナリ

四、一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日トハ振出人カ約束手形ヲ一覽シタル後一ヶ月若クハ三ヶ月ト謂フカ如キ確定セル期間ヲ經過シタル日ヲ謂フ者ニシテ此種ノ滿期日カ記載セラレタル約束手形ヲ一覽後定期拂ノ約束手形ト稱ス例之ハ「一覽後三ヶ月ニ支拂可申候」ト記載スルカ如シ

第四百五十一條準用 振出人カ約束手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其約束手形ノ滿期日トス

(釋義) 本條ハ滿期日ヲ記載セサリシ場合ニ付キ規定ス第五百二十五條ハ約束手形ノ要件ヲ規定シ其第六號ニ於テ一定ノ滿期

滿期日ヲ記載セサリシ場合

日ヲ記載スヘキモノト爲ス。故ニ若シ第四百五十條準用ニ定ムル滿期日ノ四種類中ノ一ヲ滿期日トシテ記載セサレハ其約束手形ハ要件ヲ具備セサルノ故ヲ以テ無効ナラサルヘカラスト雖モ本條ハ其補充ノ方法ヲ規定シテ其約束手形ニ効力ヲ與フルコトト爲セリ即チ滿期日ノ記載ナキトキハ何時ニテモ請求次第支拂フヘシトノ意思ヲ有セルモノト推測シ一覽拂ノ約束手形トシテ其効力ヲ有セシム蓋シ單ニ滿期日ノ記載ナキ一事ヲ以テ其約束手形ヲ無効ト爲サンヨリモ寧ロ一覽拂ノモノトシテ有效ナラシムルコト當事者ノ意思ニ適シ且一般ノ利便ニ合スルモノナレハナリ

一覽後定期

第五百二十七條 一覽後定期拂ノ約束手形ノ所持

形拂ノ約束手
間ノ呈示期

人ハ其日附ヨリ一年内ニ振出人ニ約束手形ヲ呈示
スルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期間ヲ
定ムルコトヲ得
所持人カ拒絶証書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲
シタルコトヲ証明セサルトキハ振出人以外ノ前者
ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

(釋義) 本條ハ一覽後定期拂ノ約束手形ノ呈示期間ニ付キ規定
ス蓋シ一覽後定期拂ノ約束手形ニ在リテハ其名稱ノ示ス如ク振
出人カ手形ヲ一覽シタル後一定ノ期間ヲ經過シタル時ヲ以テ滿

期日ト爲スモノナレハ所持人カ其約束手形ヲ呈示スルニ非ラス
ノハ滿期日ヲ定ムルコトヲ得サルモノナリ然ルニ其呈示期日ハ
全然所持人ノ意思ニ一任シテ何等ノ制限ヲモ附スルコトヲク數
年若クハ數十年ノ後ニテモ可ナリトセハ結局滿期日ハ約束手形
ノ所持人ノ隨意ニ定ムルコトヲ得ヘキモノトナリ振出人若クハ
償還債務者ハ何時支拂若クハ償還ヲ請求セラルルヤモ測ラレス
シテ大ニ迷惑ヲ感スヘシ是レ本條第一項ノ規定アル所以ニシテ
一覽後定期拂ノ約束手形ノ所持人ハ振出ノ日ヨリ一年内ニ振出
人ニ約束手形ヲ呈示スヘキモノト爲セリ但振出人カ一年ヨリ短
キ呈示期間ヲ定メタルトキハ其期間内ニ呈示セサルヘカラス
振出人ノ意思若クハ法律ノ規定ニ依リテ定マリタル期間内ニ呈

示ヲ爲ササルモ所持人カ振出人ニ對スル手形上ノ權利ニハ何等ノ影響ヲ及ホサスト雖モ振出人以外ノ前者ニ對シテハ第一前示ノ期間内ニ呈示セシコト第二呈示ヲ爲セシコトヲ拒絕證書ニ依リテ證明スルニハ非スンハ手形上ノ權利ヲ喪失スルモノナリトス

第五百二十八條 所持人カ一覽後定期拂ノ約束手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ振出人カ呈示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記載セサリシトキハ所持人ハ呈示期間内ニ拒絕證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ日ヲ以テ

一覽後定期
拂約束手形
呈示ニ際シ
適法ナル記
載ヲ得サル
シ場合

呈示ノ日ト看做ス

所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキハ振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ
振出人カ呈示ノ日附ヲ記載セサリシ場合ニ於テ所持人カ拒絕書証ヲ作ラシメサリシトキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

(釋義) 本條ハ一覽後定期拂ノ約束手形ノ呈示ヲ爲シタルモ適法ナル記載ヲ得サリシ場合ニ付キ規定ス一覽後定期拂ノ約束手形ハ前條ニ説明セシカ如ク振出人カ約束手形ノ呈示ヲ受ケタル

日ヨリ一定ノ期間ヲ經過シタル時ヲ以テ滿期日ト爲スモノナレハ縱令ヒ所持人カ呈示ヲナスモ振出人カ呈示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記載セサルトキハ滿期日ヲ定ムルニ由ナキヲ以テ所持人ハ呈示期間内ニ拒絶證書ヲ作ラシメサルヘカラス而シテ其拒絶證書作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ其日ヨリ一定ノ期間ヲ計算シ以テ其約束手形ノ滿期日ヲ確定スヘキモノト爲セリ

約束手形ノ呈示及ヒ拒絶證書ニ依ル呈示ノ證明ハ振出人以外ノ前者ニ對スル所持人ノ手形上ノ權利ノ保全手續ニ過キサルカ故ニ所持人ハ呈示期間ニ呈示ヲ爲ササルモ又縱令ヒ呈示ヲ爲シタルモ振出人カ呈示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記載セ

サリシ場合ニ於テ拒絶證書ヲ作成セシメサルモ振出人ニ對スル手形上ノ權利ヲ失ハサルヲ以テ拒絶證書ヲ作ラシメサリシ場合ニ於テモ尙ホ滿期日ノ起算點タル呈示ノ日ヲ定ムルノ必要アリ是レ本條第三項ノ規定アル所以ニシテ此場合ニハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做シ此日ヨリ滿期日ヲ起算スヘキモノト爲セリ

本條第二項ハ所持人カ右ノ拒絶證書ヲ作ラシメサリシニ基因スル効果ヲ規定スルモノニシテ所持人ハ振出人以外ノ前者即チ裏書人保証人ニ對スル手形上ノ權利ヲ喪失スヘキモノト爲セリ

第四百五十三條準用 支拂地カ振出人ノ住所地ト異ナルトキハ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ約束手

他所拂約束手形

形ニ記載スルコトヲ得

(釋義) 本條ハ他所拂約束手形ニ付キ規定ス蓋シ約束手形ハ振出人ノ住所若クハ營業所所在地ニ於テ支拂ハルヘキヲ通則トス若シ其以外ノ地ヲ以テ支拂地ト定メタルトキハ其地ハ即チ手形ノ住所トモ稱スヘキモノニシテ之ヲ他所拂約束手形ト稱ス而シテ斯ル手形ヲ認ムル必要ハ振出人ノ住所地若クハ營業所所在地カ商業上ノ交通少キ場所ナルトキ商業地ヲ以テ支拂地ト定メント爲ス場合ニ發生スルモノナリトス

此他所拂約束手形トハ支拂地ト振出人ノ住所地ト異ナルコトカ約束手形面ニ於テ明示セラレ居ラサルヘカラス即チ其約束手形所載ノ文言ニ依テ他所拂ナルヤ否ヤヲ決スルモノニシテ他ノ証

支拂場所

據ニ依ルコトヲ得サルモノトス從テ事實上ノ異地ハ法律ノ問フ所ニ非ス故ニ支拂地カ實際異ナルモ之ヲ約束手形ニ記載セサルトキハ他所拂約束手形ト稱スルコトヲ得ス反之而地カ事實上相同シキモ約束手形面ニ相異ナル土地ヲ記載シタルトキハ他所拂約束手形タルヲ妨クサルナリ

第四百五十四條準用 振出人ハ約束手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得

(釋義) 本條ハ支拂ノ場所ニ付キ規定ス支拂ノ場所ト支拂地トハ之ヲ混同セサルコトヲ要ス支拂地トハ或地域ヲ謂フモノニシテ市町村ノ區劃ト同一ニシテ又市町村制ノ施行ナキ地方ニ於テ

ハ從來ノ町村ヲ謂フモノナリトス例之ハ東京大坂名古屋函館小樽等ノ如キ即チ是ナリ支拂ノ場所トハ約束手形金額カ支拂ハルル或地點ヲ謂フモノニシテ何町何丁目何番地ト謂フカ如キ即チ是ナリ此支拂ノ場所ヲ記載スルハ如何ナル理由ニ出ツルモノナリヤト謂フニ全ク約束手形所持人ノ利益ノ爲メニ記載スルモノナリトス從來或地方ニ於テ行ハルル約束手形ニ指定銀行ナルモノノ記載アリ即チ右手形金額何々銀行ニ於テ支拂フヘシトノコトヲ約束手形ノ振出人カ手形ニ記載シタルトキハ其銀行ハ支拂ノ場所ヲ指示セシモノナルヤ或ハ支拂擔當者ヲ指定セシモノナルヤニ付キ疑義アリシト雖モ今日ニ於テハ支拂ノ場所ヲ指定セシモノナリト謂フコトニ決定セリ

指定銀行ノ記載

(判例) 大審院判決(明治三十三年(才)第五百四十號約束手形請求ノ件)

支拂ノ場所ヲ記載シタル手形ニ付テハ該場所ニ於テ其呈示及ヒ拒絕證書ノ作成ヲ爲スコトヲ得ルモノトス
「按スルニ手形ノ支拂ヲ求ムル爲メニスル呈示ハ必ス支拂地ニ於テ爲スヲ要シ而シテ拒絕證書ノ作成ハ支拂地ニ於テ爲スヲ通例トスルコトハ商法第四百四十二條及ヒ第四百九十條ノ規定ニ依リテ誠ニ明白ナリ加之其第四百四十二條ノ規定ニ依レハ手形ノ呈示及ヒ拒絕證書ノ作成ハ支拂義務者ノ承諾アル場合ヲ除ク外其營業所ニ於テシ若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テ爲スコトヲ要スルモノトス然リ而シテ振出人ハ手形ノ支拂地ニ

於クル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得ルハ同法第四百五十四條ニ於テ明ニ規定スル所ナリ夫レ既ニ法律ニ於テ支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ許シタル所ニ由リテ之ヲ觀レハ支拂義務者ハ其場所ニ於テハ支拂ヲ爲ス義務アルノミナラス又其權利アリト謂ハサルヲ得ス是故ニ第四百四十二條ノ規定ニハ支拂ノ場所ニ關スル明文ナシト雖モ如上ノ場合ニ於テハ其場所ハ支拂義務者カ其手形ニ付テハ支拂ヲ爲スヘキ場所ナルヲ以テ其呈示及ヒ拒絕證書ノ作成モ亦該場所ニ於テ爲スコトヲ得ルモノト論斷セサルヲ得ス何トナレハ若シ之ヲ否トスレハ第四百五十四條ノ規定ハ徒爲ニ屬スルノミナラズ支拂義務者ノ住所地ト支拂地ト異ル場合ニ於テ支拂地ニ其營業所若クハ居所ナキ場合ニ於テハ手形ノ呈

示ハ支拂地ニ於クル支拂ノ場所ニ之ヲ爲シ而シテ拒絕證書ノ作成ハ支拂義務者ノ住所ニ於テ爲スヘキコトトナリ若シ兩地ノ距離隔絶スルトキハ拒絕證書ノ作成ハ法定ノ期間内ニ於テ不可能タル事實モ亦往々生スヘクレハナリ云々

第三 裏書

裏書トハ約束手形上ノ債權者カ約束手形其謄本又ハ補箋ニ於テ或ハ新債權者ヲ指定シ或ハ其約束手形上ノ債權ノ質權者ヲ指定シ或ハ亦其取立ノ代理人ヲ指定スル手形行爲ヲ謂フ蓋シ裏書トハ通常讓渡裏書ノ意義ニ使用セララルト雖モ必シモ讓渡裏書ニ限ラルヘキモノニ非スシテ質入裏書取立委任裏書モ亦裏書ノ中

ニ包含セラレヘキモノナリトス

約束手形ノ裏書

第四百五十五條準用 約束手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

(釋義) 本條ハ約束手形ハ所謂法律上ノ指圖證券ナルコトヲ規定セシモノナリ約束手形カ記名式ナルトキトハ其手形カ指圖式若クハ無記名式ナルニ非スシテ特定ノ人ニノミ拂渡サルヘキ旨ヲ表示スル場合ヲ謂フ例之ハ甲殿又ハ其指圖人ニ支拂可申候トノ文言ノ代ハリニ單ニ甲殿ニ支拂可申候ト記載セラレルカ如ク斯ノ如ク約束手形面ニハ單ニ甲殿ニ拂渡ス旨ノ記載アルモ受取

人ハ其約束手形ヲ裏書シテ他人ニ轉帳スルコトヲ得ヘキモノナリトス蓋シ法律上ノ指圖證券トハ其證券面ニ於テハ指圖文句ノ記載ナキモ恰モ指圖文句ノ記載アルカ如ク裏書讓渡ヲ爲シ得ルモノナリトノ謂ナリ

約束手形ハ其性質上流通證券ナルコト以上説明セシカ如シト雖モ其振出人カ特ニ裏書ヲ禁止スル旨ヲ手形面ニ明記シタルトキハ絶對的ニ裏書ヲ爲スコトヲ得サルモノニシテ其約束手形ハ流通證券タル效力ヲ有セス斯ノ如キ約束手形ヲ稱シテ振出ニ因ル裏書禁止ノ約束手形ト稱ス然リト雖モ振出人ノ爲シタル裏書禁止ノ效力ハ全然手形上ノ債權ノ移轉ヲ禁止スルノ趣意ニ非サルカ故ニ指名債權トシテ債權讓渡ニ關スル方式ニ依リテ之ヲ移轉

スルコトヲ得ヘシ但其讓渡ハ裏書讓渡ノ効力ヲ生セスシテ債權讓渡ニ關スル一般ノ効力ヲ生スルニ過キサレモノトス(民法第四百六十六條第四百六十七條參照)

(理論) 裏書讓渡ト債權讓渡トノ差違

(一)指名債權讓渡ハ債權者ノ權利トシテ爲スモノニシテ債權其物カ讓渡シ得ヘキモノナリトノ性質ニ基クモノナリ反之指圖債權タル約束手形ニ於ケル權利ノ移轉ハ債務者ノ意思ニ基クモノナリ裏書ニ依リテ轉讓シタル後滿期日ノ到來シタル時ニ於テ權利者ニ履行ヲ爲スノ意思カ證券ノ形式ニ於テ表示セラルルモノナリ

(二)指名債權ノ讓受人ハ讓渡人ノ有シタル權利ヲ承繼スルモノナリ

裏書讓渡ト債權讓渡トノ差違

レハ債務者ハ讓渡人ニ對抗スルコトヲ得ヘキ人的抗辯ヲ以テ總テノ讓受人ニ對抗スルコトヲ得然ルニ指圖證券タル約束手形ニ在リテハ債務者ハ始ヨリ債權者ニ變更アルヘキコトヲ豫想シ滿期日ノ當時ニ於テ權利者ノ資格アル者ニハ其何人タルヲ問ハス債務ヲ履行スヘキコトヲ表示スルカ故ニ讓受人ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由カ制限セラルヘキハ當然ノ事理ナリ

(三)指名債權ノ讓渡ニ在リテハ債務者ニ其讓渡ノ通知ヲ爲シ又ハ債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルモノトス(民法第四六七條)指圖証券ニ在リテハ債務者ハ其振出ノ始ヨリ權利ノ移轉ヲ承認シ且其証券ノ取得者ノ何人タルヲ問ハス滿期日ニ於ケル所持人ニ對シテ履行

ヲ爲スヘキ意思ヲ表示スルカ故ニ其移轉ニ付キテハ固ヨリ通知若クハ承諾ヲ必要トセサルコト當然ノ結果ナリ

(四)指名債權ノ讓渡ハ形式ヲ必要トセス亦証券ノ存在ヲモ要セス
當ニ權利ノ成立カ証券ノ作成ヲ必要トセサルノミナラス其移轉ニ付テモ亦証券ノ存在ヲ要セサルナリ唯証券アル場合ニ於テハ讓渡人ハ其証券ヲ讓受人ニ交付スルノ義務ヲ負擔スルノミ指圖証券ニ在リテハ裏書ヲ以テ債權移轉ノ形式ト爲スモノナレハ証券ノ作成及ヒ其交付ノ必要ナルコト論ヲ俟タサルナリ

(五)指名債權ノ讓渡人ハ債權ノ存在スルコトヲ擔保スルモ其債權ノ執行カ實效ヲ奏スルヤ否ヤニ付テハ責任ナシ反之指圖債權タル約束手形ノ裏書讓渡ノ場合ニハ讓渡人カ擔保ノ責任ヲ負擔ス

ルヲ以テ本則トス

(六)指名債權ニ在リテハ債務者カ真正ノ債權者ニ非サル者ニ辨濟ヲ爲スモ其辨濟ハ法律上無効ナリ反之指圖債權ニ在リテハ債務者ハ其証券ノ所持人及其署名捺印ノ眞偽ヲ調査スル權利ヲ有スルモ義務ヲ負擔セサルカ故ニ重大ナル過失アルカ又ハ惡意ノ場合ノ外其辨濟無効ノ危險ヲ負擔スルモノニ非ス(民法第四七〇條)裏書ニ依リテ轉帳スルコトヲ得ル指圖証券ニ在リテハ裏書ノ連續ヲ必要トスルコトハ商法ニ於テ認メタル指圖証券一般ニ通スル原則ナリトス(商法第二八二條)

民 裏書
第四百五十六條準用 振出人又ハ裏書人カ裏書ニ依リテ約束手形ヲ讓受ケタルトキハ更ニ裏書ニ依

リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

(釋義) 本條ハ所謂戻リ裏書ニ付キ規定セシモノナリ戻リ裏書トハ既ニ手形行爲ヲ爲シテ手形上ノ債務ヲ負擔シタル者ニ爲ス裏書ヲ謂フ凡ソ權利ト義務トカ同一人ニ屬スルトキハ其權利義務ハ混同ニ依リテ消滅スヘキモノナレハ約束手形上ノ債務者カ裏書ニ依リテ約束手形ヲ讓受ケタルトキハ約束手形ハ混同ノ原則ノ適用ヲ受ケ其効力ヲ失フヤノ疑アルノミナラス佛蘭西法ニ於テハ此理論ヲ採用スルカ故ニ我約束手形法ハ特ニ本條ヲ明規シテ約束手形上ノ權利ヲ得タル者ノ何人ナルヤヲ問ハス更ニ裏書ヲ爲シ得ヘキコトヲ定ム而シテ本條ニ於テハ振出人又ハ裏書人トアレトモ是レ制限的列舉法ヲ採用セシモノト解釋スヘカラ

スシテ保証人支拂擔當者等ノ如キモ亦裏書ニ依リテ手形上ノ債權者トナルコトヲ得ルモノナルコト勿論ナリトス

第四百五十七條準用 裏書ハ約束手形其謄本又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後約束手形ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

(釋義) 本條ハ裏書ノ方式ニ付キテ規定ス裏書ハ之ヲ爲スノ目的ヨリ區別スレハ三種ト爲スコトヲ得即チ其一ハ質入裏書ニシ

テ其二ハ取立委任ノ裏書ニシテ其三ハ所謂讓渡裏書即チ被裏書人ヲシテ手形上ノ債權者タラシメ之ニ手形上ノ完全ナル權利ヲ與フルヲ以テ其目的ト爲スモノニシテ是レ普通ノ裏書ナリトス從テ單ニ裏書ト云ヘハ所謂讓渡裏書ノ義ニシテ質入裏書又ハ取立委任ノ裏書ハ明ニ其目的ヲ約束手形ニ記載セサルヘカラサルハ第四百六十三條準用ノ明規スル所ナリ此ノ如ク裏書ハ其目的ニ依リ三種ノ區別アリト雖モ此等ノ裏書ハ孰レモ皆如何ナル行爲ニ依リテ成立スルモノナルヤ即チ裏書ナル手形行爲ノ方式如何是レ本條ノ規定スル所ニシテ二種ノ方式ヲ認ム其一ハ記名式裏書ニシテ其二ハ無記名式裏書是ナリ而シテ裏書ハ必シモ約束手形ノ裏面ニ記載ススコトヲ要セス只通

記名式裏書

常之ヲ手形ノ裏面ニ記載スルカ故ニ此名稱アルノミ又裏書ハ必シモ之ヲ約束手形其物ニ爲スコトヲ要セスシテ約束手形ノ謄本又ハ補箋ニモ爲シ得ルモノナリトス

本條第一項ハ記名式裏書ノ方式ヲ規定ス學者或ハ之ヲ完全ナル裏書若シハ固有ノ裏書ト稱ス即チ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人之ニ署名スルモノ是ナリ例之ハ

被裏書人ノ氏名又ハ商號	裏書ノ年月日	裏書人ノ署名
甲 野 一 太 郎	明治三十四年十月二十五日	乙 野 次 郎

本條第二項ハ無記名式裏書ノ方式ヲ規定ス學者或ハ之ヲ略式裏書若シハ白地裏書ト稱ス即チ裏書人ノ署名ノミアルモノニシテ

無記名式裏書

被裏書人ノ何人タルヤ及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載セサルモノナリ例之ハ

裏書人ノ署名 乙 野 次 郎

無記名式裏書トハ被裏書人ノ何人ナルヤヲ示ササル裏書ヲ云フモノニシテ裏書ノ年月日裏書指圖文句ヲ記載スルモ無記名式裏書タルノ効力ヲ害スルモノニ非サルナリ斯ノ如ク無記名式ノ裏書ニ於テハ被裏書人ノ何人ナルカヲ示ササルカ故ニ爾後約束手形ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ轉讓スルコトヲ得ルモノナリトス
(理論) 裏書ノ方式ハ既ニ説明スル所ニ依リテ明白ナリ此等ノ方式ニ從ヒテ爲シタル裏書ノ性質及ヒ効力ヲ本欄ニ於テ一言ス

裏書ノ效果

ルハ極メテ適當ナリト信ス
裏書ノ效果ハ總テノ裏書ニ通シテ之ヲ説明スルハ極メテ困難ニシテ亦殆ント何等ノ實益ナシ如何トナレハ裏書ノ效果ハ裏書ノ種類ニ依リテ大ニ異ナルモノナレハナリ學者或ハ總テノ裏書ニ貫通スル效果ヲ約言セント欲シテ苦心焦慮シ或ハ裏書ノ効力ハ裏書ノ證明力ニアリトシ或ハ被裏書人ヲシテ手形上ノ權利ヲ執行セシムルノ資格ヲ附與スルニアリト爲スト雖モ予輩ノ見ル所ヲ以テスレハ斯ノ如キ研究ハ寧ロ徒勞ニ屬セサルヤノ感ナキニアラス蓋シ裏書トハ手形行爲ノ一箇ノ形式ニ過キスシテ如何ナル目的内容ヲ有スル手形行爲ナルカハ各種ノ裏書ニ依リテ異ルモノナリ從テ其效果モ裏書ノ種類ニ依リテ之ヲ異ニスヘキハ當

然ノ事理ナレハナリ故ニ左ニ場合ヲ區別シテ之ヲ説明セント欲ス

第一 讓渡裏書即チ所謂單純ナル裏書ニシテ支拂拒絶證書作成期間經過前ニ爲サレタル場合ノ効果

從來學者カ裏書ノ効力トシテ論スル移轉力ト擔保力トハ實ニ此時期ニ於ケル此種類ノ裏書ニ付キテ謂ヘルモノニシテ即チ左ノ如シ(尙ホ所謂後裏書即チ讓渡裏書ナルモ支拂拒絶證書作成期間經過後ニ爲サレタル場合ニ付テハ第四百六十二條準用ヲ參觀スヘシ)

(イ) 移轉力即チ手形權利ノ移轉 裏書ニ依リテ被裏書人ハ裏書人カ約束手形上ニ有スル權利ヲ取得シ滿期日ニ於テ約束手形

ノ振出人ニ對シテ手形金額ノ支拂ヲ請求シ得ルハ勿論他人ニ裏書讓渡ヲ爲スコトヲ得ヘシ要スルニ被裏書人ハ裏書ニ因リテ裏書人ト同一ノ地位ニ立チ同一ノ資格ヲ取得スルモノトス

(ロ) 擔保力即チ擔保義務ノ負擔 裏書人ハ裏書ニ因リテ約束手形ノ所持人ニ對シ滿期日ニ於テ振出人ヲシテ手形金額ヲ支拂ハシムヘキコトヲ擔保スルモノナリトス但此擔保力ハ裏書ノ必然ノ効力ニ非ラス如何トナレハ約束手形法ハ無擔保ノ裏書(第四五九條準用)ヲ認メタレハナリ

第二 取立委任ノ裏書ノ效果 第四百六十三條準用ノ下ニ説明スヘシ

第三 質入裏書ノ效果 第四百六十三條準用參觀

(判例) 大審院判決(明治三十三年(才)第五百四十號約束手形金請求ノ件)

手形ノ裏書ニ某株式會社支店ヲ裏書讓受人ト爲シタル場合ニハ某株式會社ヲ以テ裏書讓受人ト爲シタルモノト看做スヘキモノトス

「按スルニ株式會社ノ支店ハ其會社ノ營業所タルニ過キスシテ法律上人格ヲ附與セラレタルモノニ非ス故ニ第三論旨ノ如キ株式會社ノ支店カ獨立シテ財産ヲ所有シ商號ヲ專用シ若クハ法律行爲ヲ爲スコトヲ許シタル規定ハ商法及ヒ他ノ法令中一モ存スルコトナシ其支店ノ業務ヲ擔任スル取締役カ專ラ事務ヲ執行シ法律行爲ヲ爲スハ要スルニ法人タル株式會社ヲ直接ニ代表スルモ

ノニシテ其支店ヲ代表スルニ非サルコトハ固ヨリ論ヲ俟タス若シ夫株式會社ノ商號ニ至リテハ其本店所在地タルト支店所在地タルトヲ問ハス某株式會社ノ名稱ヲ用ユルヲ例ト爲シ支店所在地ニ於テ特ニ其株式會社支店ノ商號ヲ專用スルカ如キハ誠ニ異例ト云ハサルヲ得ス是ヲ以テ手形ノ裏書ニ某株式會社支店ヲ以テ裏書讓受人ト爲シタル場合ニ於テハ某株式會社ヲ以テ裏書讓受人ト看做スヲ通例トセサルヲ得ス何トナレハ株式會社支店ハ人格アラサルカ故ニ當事者ハ人格ナキ者ヲ以テ裏書讓受人ト爲シタル意思アリシモノト爲スヨリハ寧ロ人格アル者ニ裏書讓渡ヲ爲シタルモノト解釋スヘキハ當然ナルノミナラス法律ニ於テ支店ノ設置ヲ是認シタルハ即チ株式會社カ支店ノ所在地ニ於テ

活動スルコトヲ是認セシニ外ナラサルカ故ニ所謂某株式會社某地支店トハ某地支店ニ於ケル某株式會社ノ謂ナリト論斷セサルヲ得サレハナリ云々」

大審院判決(明治三十四年(オ)第五百五十九號約束手形金請求ノ件)手形ニ裏書人又ハ被裏書人トシテ商事會社ノ支店ヲ記載シタルモノハ該支店ニ於テ商行爲ヲ爲ス所ノ法人ヲ指示シタルニ外ナラサルモノトス

「按スルニ商事會社ノ支店ハ法律上人格ヲ有スルモノニアラサルコトハ論ヲ俟タスト雖モ支店ナルモノハ法人カ獨立シテ商行爲ヲ爲ス所ノ營業所ナルコトハ商法第五十一條第百七條第百四十一條ニ於テ支店ノ登記ヲ命シタルニ因リ自ラ明カナリ故ニ手形

ニ裏書人又ハ被裏書人トシテ支店ヲ記載シタルモノハ即チ支店ニ於テ商行爲ヲ爲ス所ノ法人ヲ指示シタルニ外ナラサル者トス」大審院判決(明治三十四年(オ)第六百三十四號約束手形金請求ノ件)商事會社ハ其本店若クハ支店ニ於ケル商行爲ノ人格ナルヲ以テ手形ノ裏書ヲ會社支店宛ト爲シタル場合ニ於テ其裏書讓受人ハ法人タル會社ナリトス

「按スルニ商事會社ノ支店ハ法律上人格ヲ有スルモノニ非サルコトハ固ヨリ論ヲ俟タスト雖モ支店ハ其本店ノ主人ノ營業所ニシテ獨立シテ其商行爲ヲ爲スヘキ場所ナリトノ趣旨ヲ認メタルコトハ習商法ニ於テモ異ナルコトナキハ其第七十八條第百六十九條ニ於テ特ニ支店ノ登記ヲ命シタルニ因リ自ラ明ナリ故ニ其主

人ハ本店ニ在ルト支店ニ在ルトヲ問ハス其店ニ於ケル商行爲ノ人格タルヘキコト勿論ナレハ支店ニ宛テ裏書ヲ爲シタル手形ノ被裏書人タルヘキコトモ亦明ナリトス云々」

第四百五十九條準用 裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當リ手形上ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載スルコトヲ得

(釋義) 本條ハ講學上所謂無擔保裏書ナルモノニ付キ規定ス蓋シ所謂讓渡裏書ノ第二ノ効果トシテ裏書人ハ其被裏書人及ヒ其後者ニ對シ約束手形金額カ満期日ニ於テ必ス支拂ハルヘキコトヲ擔保スルモノナルハ既ニ前條ニ於テ説明セシ所ナリ然ルニ裏書人ハ或ハ振出人若クハ其前者ノ資力ニ疑ヲ存スルカ爲メ或ハ其他ノ事由ニ依リ此擔保義務ヲ負擔スルコトヲ避ケント欲スル

無擔保裏書

裏書禁止ノ裏書

場合ナキニ非ス斯ノ如キ場合ニ於テ裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當リ手形上ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載シ以テ此擔保義務ヲ免カルルコトヲ得ヘシ然シ乍ラ此無擔保ノ裏書ハ約束手形ノ振出人若クハ前者ノ資力ヲ疑フコトヲ表白スルモノナレハ斯ノ如キ記載アル約束手形ハ自然其流通ヲシテ澁滯セシムルコトアル可キハ當然ノ結果ナリトス故ニ若シ約束手形上ノ責任ヲ負擔スルコトヲ欲セサル者ハ寧ロ前者ヲシテ自己ニ無記名式ノ裏書ヲ爲サシメ然ル後單ニ引渡ノミニ依リテ他人ニ移轉スルノ方法ヲ採用スルヲ以テ優レリトス

第四百六十條準用 裏書人カ裏書ヲ爲スニ當リ爾後裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ其裏書人ハ

被裏書人ノ後者ニ對シテ約束手形上ノ責任ヲ負フ
コトナシ

(釋義) 本條ハ講學上所謂裏書禁止ノ裏書ニ付キ規定ス蓋シ裏書ハ既ニ説明セシ如ク被裏書人ヲシテ裏書人ト同一ノ地位ニ立タシムルト全時ニ裏書人ヲシテ被裏書人ノミナラス尙ホ其後者ニ對シテモ約束手形金額カ支拂ハルヘキコトノ擔保義務ヲ負擔セシムルモノナレハ裏書人ハ何時何人ヨリ償還ノ請求ヲ受クルコトアルヘキヤモ計ラレサルモノナリ若シ裏書人ニシテ被裏書人以外ノ者ヨリ償還請求ヲ受クルコトヲ欲セザルトキハ裏書ヲ爲スニ當リ爾後裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載スレハ以テ其目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ

裏書人ハ
對ニ裏書
禁止シ得
レ

(理論) 抑モ裏書人ハ絶對ニ裏書ヲ禁スルコトヲ得ルヤ否ヤ是レ大ニ攻究スヘキ問題ナリトス約束手形ノ裏書禁止ハ振出人ノ爲ス場合ト裏書人ノ爲ス場合トアリ振出人カ裏書ヲ禁止スル旨ヲ記載シタルトキハ絶對ニ裏書ヲ爲スコトヲ得サルハ第四百五十五條準用ノ明規スル所ニシテ其理由ヲ按スルニ約束手形ノ振出人ハ即チ手形ノ發行者ニシテ手形ノ運命ハ發行者ノ意思ニ依ラサルヘカラス從テ振出人カ裏書禁止文句ヲ記載セシトキハ絶對的ニ裏書ヲ爲スコトヲ得スト謂ハサルヘカラスト爲スニアリ然ルニ裏書人カ記載シタル裏書禁止文句ノ効力ハ振出人ノ爲シタル場合ト大ニ異ナルモノアリ如何トナレハ約束手形發行ノ當時ニ手形ハ裏書ヲ爲スコトヲ得ヘキ形式ヲ具備シ而カモ是レ實

ニ振出人ノ意思ニ從ヒテ發行セラレタルモノナリ故ニ裏書人ハ振出人ノ意思ニ反シテ猥リニ裏書ノ絶對的禁止ヲ爲シ得ヘキモノニ非サルナリ本條カ裏書人ノ爲シタル裏書禁止文句ヲ以テ絶對ニ裏書ヲ禁スル効力ヲ認メスシテ單ニ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ擔保ノ責ニ任セサルニ止マルモノト爲セシ所以亦茲ニ存ス從テ裏書人カ裏書禁止文句ヲ記載スルモ其約束手形ハ依然讓渡裏書ヲ續行スルコトヲ得ルモノナリトス

前條ニ規定セシ無擔保ノ裏書ト本條ニ規定セル裏書禁止ノ裏書トノ効力ノ差違ヲ一言スヘシ無擔保ノ裏書ヲ爲シタル裏書人ハ全然手形上ノ責任ヲ負擔セスト雖モ裏書禁止ノ裏書ヲ爲シタル裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテハ手形上ノ責任ヲ負擔セスト

無擔保ノ裏書禁止ノ差違

雖モ直接ノ當事者タル其被裏書人ニ對シテハ擔保ノ責ニ任セサルヘカラス

無記名式裏書ノ變更

第四百六十一條準用 裏書人カ其署名ノミヲ以テ裏書ヲ爲シタルトキハ所持人ハ自己ヲ其被裏書人ト爲スコトヲ得

(釋義) 本條ハ無記名式裏書ヲ記名式裏書ニ變更シ得ルヲニ付キ規定ス抑モ裏書人カ其署名ノミヲ以テ裏書ヲ爲シタル場合ニ於テハ被裏書人ノ氏名又ハ商號ハ約束手形上ニ記載セラレヌシテ手形ハ爾後引渡ノミニ因リテ之ヲ讓渡スコトヲ得ルモノナリトス(第四五七條第二項準用)此無記名式裏書ノ利益長所ハ約束手

形ノ流通ヲ圓滑容易ナラシムルニアリ即チ約束手形ノ取得者ハ手形行爲ヲ爲サスシテ之ヲ他人ニ轉帳シ得ルカ故ニ自ラ手形上ノ責任ヲ負擔スルコトナキニアリ而シテ其短所ハ約束手形ノ盜難紛失等ノ災厄ニ罹ルトキ之ヲ搜索復舊スルノ困難ナルニ在リ如何トナレハ此場合ニハ被裏書人ノ氏名又ハ商號ハ約束手形ニ記載セラレサルカ故ニ約束手形ノ占有者ハ即チ權利者ナレハ手形ノ喪失ノ事實ヲ調査スルノ便宜ヲ失ヘハナリ加之此種ノ裏書ハ約束手形上ノ責任ヲ負擔スル者ヲ減少スルカ故ニ約束手形ノ擔保ヲ薄弱ナラシムル不利益アルモノトス抑モ約束手形カ無記名式(第四四九條準用)ニテ振出サレタルトキハ所持人ハ其性質ヲ變シテ記名式ト爲スコトヲ得スト雖モ無記名式ノ裏書ノ場合ニ

ハ約束手形ノ本來ノ性質ヲ變更セシテ否所持人ハ自己ヲ被裏書人トシテ記載シ以テ裏書ノ補充ヲ爲スコトヲ得セシムルモ毫モ振出人ノ意思ニ反シテ手形ノ運命ヲ左右スルモノニ非ス是レ本條ノ規定アル所以ナリ尙ホ本條ニ付キテハ左ノ三點ヲ注意セサルヘカラス

(一)無記名式ノ裏書ハ約束手形ヲシテ純然タル無記名式ニ變更セシムルモノナリト誤解ス可カラス無記名式ノ裏書アル約束手形ハ其活動ノ狀態ニ於テ恰モ無記名式約束手形ノ如ク簡便ニ轉帳シ得ルモノナルノミ

(二)所持人カ自己ヲ被裏書人トシテ記載シタル後之ヲ轉帳スルニ當リテハ記名式指圖式若クハ無記名式裏書ヲ爲スコトヲ得ルコ

ト勿論ナリトス

(三)本條ニ於テハ他ノ立法例ト異ナリテ第三者ヲ以テ其無記名式ノ裏書ノ被裏書人ト爲スコトヲ許サス如何トナレハ本條ハ所持人ハ自己ヲ被裏書人ト爲スコトヲ得ト明記スレハナリ

無記名式裏書ノ效力ニ關スル佛國ノ學說

(理論) 外國ノ立法例ヲ按スルニ無記名式ノ裏書ヲ認メサルモノナシ唯佛蘭西商法ニ於テハ無記名式ノ裏書ハ委任ノ効力ヲ生スルニ止マルモノトス(佛商法第一三八條)而シテ無記名式ノ裏書ニ依リテ手形ヲ取得シタル者ハ此不完全不規則ナル裏書ヲ變シテ完全ナル規則的ノ裏書ト爲スコトヲ得換言スレハ法律力裏書ノ要件トシテ規定シタル事項(即チ裏書ノ日附對價文句及ヒ被裏書人ノ名)ヲ補充シ完全ノ裏書タル形式ヲ具備セシメ之ニ因リテ

始メテ約束手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得ルモノニシテ若シ之ヲ補充セサレハ所持人ハ約束手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得サルモノナリトハ佛國學者一般ノ定説ナリトス我約束手形法カ認メタル本條ノ規定ヲ以テ佛國學說ニ所謂補充ト同一ノ意義ニ解釋シ其補充ヲ爲ササレハ獨立シテ約束手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得サルモノト爲スハ大ナル誤謬ニ陷ルモノト云ハサルヲ得ス我國ニ於テハ無記名式ノ裏書ハ其形式ニ於テ完全ナル裏書ニシテ又裏書ノ完全ナル効力ヲ發生スルコトハ第四百五十七條準用ノ明規スル所ニシテ毫モ補充ヲ待ツノ必要ナキコト勿論ナリトス

我約束手形法ニ於テハ無記名式ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得

シタル者及ヒ其後ノ取得者ハ取得者タルノ資格ニ於テ支拂ヲ求
メ拒絶証書ヲ作成セシメ其他約束手形上ノ權利ヲ行使保全スル
コトヲ得ルモノナレハ本條ニ於テ所持人ハ自己ヲ其被裏書人ト
爲スコトヲ得ル旨ヲ認メタル所以ハ手形上ノ權利ノ行使及ヒ保
全行爲ヲ爲スコトトハ全然無關係ニシテ釋義ノ條下ニ説明セシ
如ク只所持人ノ便益ヲ計ルニ外ナラサルモノトス或ハ亦補充ハ
約束手形ノ擔保力ヲ増進スルニアリト論スル學者アリト雖モ之
レ亦誤リナリトス固ヨリ引渡ノミニ依リテ手形ヲ授受シタルト
キハ其當事者ハ手形上ノ責任ヲ負擔スルコトナク又所持人カ自
己ヲ被裏書人トシテ記載シタルトキハ更ニ約束手形ヲ他人ニ授
クントスルニ當リテ自ラ裏書ヲ爲シテ裏書人タルノ責任ヲ負擔

セサル可カテサルハ勿論ナリト雖モ此場合ニ於ケル裏書人トシ
テモ無擔保ノ裏書即チ手形上ノ責任ヲ負擔セサル旨ヲ記載スル
コトヲ得ルモノナレハ此補充ヲ以テ約束手形上ノ擔保力ヲ増進
スルノ目的ニ出ツルモノト爲スコトヲ得サルナリ

第四百六十二條準用 支拂拒絶証書作成ノ期間經
過ノ後所持人カ裏書ヲ爲シタルトキハ被裏書人ハ
裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得ス此場合ニ於テ
ハ其裏書人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

(釋義) 本條ハ支拂拒絶証書作成期間經過後ノ裏書即チ所謂後
裏書ニ付キテ規定スルモノナリ支拂拒絶証書作成ノ期間即チ滿

期日後二日ヲ經過シタル後所持人カ裏書ヲ爲シタルトキハ被裏書人ハ單ニ裏書人ノ有シタル權利ヲ其儘承繼スルニ止リ其前ニ於ケル裏書ノ如ク被裏書人ヲシテ獨立ノ債權ヲ取得セシメサルカ故ニ約束手形上ノ債務者ハ裏書人ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ヲ以テ被裏書人ニ對抗スルコトヲ得ヘク又其裏書人ハ支拂ノ擔保其他一切ノ約束手形上ノ責任ヲ負擔スルコトナキモノトス蓋シ手形行爲ヲ爲シテ約束手形上ノ債務ヲ負擔シタル者ハ皆最初ヨリ約束手形ノ轉帳ヲ豫期シ法律上正當ニ約束手形上ノ權利ヲ行フヘキ日ナリト認メタル時期ニ於ケル債權者ニ其債務ヲ履行スヘキ意思ヲ表示セルモノナリ換言スレハ約束手形上ノ債務者カ所持人ニ對シテ履行スヘキ意思ヲ表示シタル債務ハ拒絕證

買入裏書及
ノ取立委任
ノ裏書

書作成ノ末日ニ於テ斷然固定シタルモノニシテ從テ其後ニ於ケル約束手形ノ轉帳カ固定シタル法律關係ノ効力ヲ左右シ得ヘキモノニ非スト謂ハサル可カラス故ニ此時ニ於テ所持人カ裏書人ニ對抗シ得ヘキ事由ヲ有セシトキハ其後ノ取得者ニ對シテモ對抗シ得ヘキコト當然ノ事理ニシテ又所謂裏書ニ依リテ裏書人カ約束手形上ノ責任ヲ負擔セサルモ同一ノ理由ニ基クコト喋々ヲ俟タスシテ明白ナリトス

第四百六十三條準用 所持人ハ裏書ニ依リテ約束手形ノ買入ヲ爲シ又ハ其取立ノ委任ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ裏書ニ其目的ヲ附記スルコトヲ

要ス

前項ノ場合ニ於テ被裏書人ハ同一ノ目的ヲ以テ更ニ裏書ヲ爲スコトヲ得

(釋義)

本條ハ質入裏書及ヒ取立委任裏書ニ付キ規定ス

第一 質入裏書トハ約束手形ヲ質物トシテ之ヲ債權者ニ交付シ債權者ヲ被裏書人トシテ之ヲシテ質權者ノ權利ヲ行フコトヲ得セシムルヲ目的トスル裏書ヲ云フ此裏書ヲ爲サント欲スル者ハ質入ノ爲メニ裏書シタルコトヲ附記セサルヘカラス若シ此附記ヲ爲ササルトキハ其約束手形カ質權者ニ依リテ他人ニ裏書セラレタルトキハ其裏書ハ單純ノ裏書即チ讓渡裏書ト看做サレ被裏

質入裏書ノ
意義

質入裏書ノ
效力

書人ハ完全ナル約束手形上ノ權利ヲ取得スヘク質入主ハ最早之ヲ取戻スコトヲ得サルニ至ルモノトス尙ホ質入裏書ノ被裏書人即チ約束手形ヲ質物ニ取りタル債權者ハ自己ノ債權者ニ對シテ更ニ同一ノ目的即チ質入裏書ヲ爲スコトヲ得ルハ本條第二項ノ規定スル所ナリ

質入裏書ノ効力 是レ民法第二編第九章第四節權利質ノ規定ニ依リテ支配セラル、者ニシテ即チ左ノ如シ

(イ) 質入裏書ノ被裏書人ハ自己ノ債權額ニ對スル部分ニ限り

直接ニ約束手形上ノ權利ヲ取立ツルコトヲ得(民法第三六七條第一項)

(ロ) 満期日カ質入裏書ノ被裏書人タル債權者ノ債權ノ辨濟期前ニ到來シタルトキハ其被裏書人ハ手形上ノ債務者ヲシテ其辨

濟金額ヲ供託セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ質權ハ其供託金ノ上ニ存ス(民法第三六七條第二項)

(ハ) 質入裏書ノ被裏書人タル債權者ハ右ノ方法ニ依ル外民事訴訟法ニ定ムル執行方法ニ依リテ質權ノ實行ヲ爲スコトヲ得(民法第三六八條民事訴訟法第六〇〇條乃至第六〇二條及ヒ第六一三條)

第二 取立委任ノ裏書トハ手形上ノ權利ノ實行ヲ爲サシムル爲メニスル裏書ニシテ銀行又ハ執達吏ヲシテ手形金額ノ取立ヲ爲サシムル場合ノ如キ其著シキ實例ナリトス此場合ニ於テモ亦取立委任ノ裏書ナル旨ヲ約束手形ニ明記セサルヘカラス否ラサレハ善意ノ取得者ニ對シテハ單純ノ裏書即チ讓渡裏書ト看做サル

取立委任ノ裏書ノ意義

取立委任ノ裏書ノ効力

ルヲ以テナリ

取立委任ノ裏書ノ効力 取立委任ノ裏書ニ於テ裏書人ト被裏書人トノ關係ハ純然タル代理ノ原則ニ依リテ支配セラルヘキモノニシテ被裏書人ハ約束手形上ノ權利ヲ實行スルコトヲ得ルモ其結果ハ總テ裏書人ニ歸スルモノナリ亦被裏書人ハ約束手形上ノ權利ヲ實行スルニ付キ必シモ自ラ之ヲ爲スヲ要セス同一ノ裏書方法ニ依リ他人ヲシテ其實行ヲ爲サシムルコトヲ得ル者トス(本條第二項)而シテ被裏書人ハ其裏書人ノ代理人ナルカ故ニ第三者ニ對シテハ裏書人ノ地位ニ立ツモノト謂ハサルヲ得ス從テ其結果トシテ約束手形上ノ關係者カ裏書人ニ對抗シ得ヘキ總テノ抗辨事由ハ被裏書人ニモ亦之ヲ對抗スルコトヲ得ヘキモノトス

裏書ノ連續

第四百六十四條準用 裏書アル約束手形ノ所持人ハ其裏書カ連續スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス但署名ノミヲ以テ爲シタル裏書アルトキハ次ノ裏書人ハ其裏書ニ因リテ約束手形ヲ取得シタルモノト看做ス

(釋義) 本條ハ裏書ノ連續ニ付キ規定ス裏書ノ連續トハ約束手形ニ於テ外形上受取人ヨリ所持人タル被裏書人ニ至ルマテ裏書ノ間斷ナキコト明白ナルヲ云フ詳言スレハ前ノ裏書ニ於ケル被裏書人カ直接ニ相次ク所ノ裏書ニ於テ裏書人タラサルヘカラス約束手形發行ノ當時ニ於テハ受取人トシテ指名セラレタル者カ

手形上ノ債權者ナリ此受取人カ第一ノ裏書ヲ爲スヘキ地位ニアリ故ニ第一ノ裏書ニ於テハ受取人カ裏書人トシテ顯ハレサルヘカラス第二ノ裏書ニ於テハ第一ノ裏書ニ於ケル被裏書人カ裏書人トシテ顯ハレサルヘカラス斯ノ如ク裏書カ連續セサレハ所持人ハ約束手形上ノ權利ヲ行フコトヲ得ス裏書連續ヲ必要トセシ所以ハ約束手形上ノ授受カ正常ニ行ハレシコトヲ示シ取得者ハ安心シテ之ヲ受取ルコトヲ得ヘク約束手形ノ轉帳ヲ形式的ニ證明セントスルニアリ約束手形ノ裏書カ皆記名式ノ裏書ニシテ被裏書人ノ氏名ヲ記載スルトキハ裏書ノ連續ハ約束手形上ニ於テ明ニ顯ハルルモノナリト雖モ無記名式ノ裏書アルトキハ被裏書人ノ氏名ハ約束手形

ニ記載セラレス而シテ約束手形ノ取得者ハ或ハ無記名式ノ裏書ヲ爲スコトアリ或ハ記名式ノ裏書ヲ爲スコトアリ或ハ引渡ノミニ依リテ手形ヲ移轉スルコトアリ引渡ノミニ依リテ轉帳シタル後ニ於テ無記名式ノ裏書ヲ補充スルコトアリ而シテ更ニ記名式無記名式ノ裏書ニ依リテ轉帳スルコトアリ此等ノ場合ニ於テハ裏書ノ斷絶ヲ生スルカ故ニ立法者ハ本條ニ但書ヲ置キ總テ無記名式ノ裏書アリシトキハ次ノ裏書人ハ其裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタルモノト看倣ストノ原則ヲ認メ以テ裏書ノ連續ヲ維持スルコトヲ計レリ今此原則ノ適用ヲ例示スレハ左ノ如シ

裏書連續ノ原則ノ適用

(一)無記名式ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタル者カ自己ヲ被裏書人ト爲シタルトキハ無記名式ノ裏書ナカリシト同一ノ結果

トナリ其後ノ裏書カ皆記名式ナルトキハ裏書ノ連續ハ約束手形上ニ顯然タルモノトス

(二)無記名式ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタル者カ補充ヲ爲サス引渡ノミニ因リテ之ヲ轉帳セシ場合ニ於テ所持人カ其補充ヲ爲シタルトキハ是レ亦普通ノ原則ニ從テ裏書ノ連續ノ効力ヲ論スレハ足レリ而シテ此場合ニ於テ所持人ハ補充ヲ爲サスシテ當然ニ約束手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得但其約束手形ニ裏書アリシナラハ其裏書ハ連續セサルヘカラス是レ無記名式ノ裏書ハ無記名式ノ振出ト同一ノ効力ヲ有スト爲ス議論ノ誤謬ヲ證明スルニ足ル所以ナリトス

(三)無記名式ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタル者カ補充セス

シテ記名式ノ裏書ヲ爲シタルトキハ其記名式ノ裏書ニ於ケル裏書人ハ無記名式ノ裏書ニ因リテ約束手形ヲ取得シタルモノト看做シ以テ裏書ノ連續カ事實上約束手形ノ上ニ斷絶セラルルニモ拘ハラス此原則ノ適用ニ依リ法律上維持セラルルモノト爲セリ

(四)無記名式ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタル者カ更ニ無記名式ノ裏書ヲ爲セシ時ハ其裏書ニ於ケル裏書人ハ前ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタルモノト看做ス

(五)無記名式ノ裏書アリタル後ニ引渡ノミニ因リテ轉帳シ其後裏書アリシトキハ其裏書ノ記名式ナルト無記名式ナルトヲ問ハス其裏書ニ於ケル裏書人ハ無記名式ノ裏書ニ依リテ約束手形ヲ取得シタルモノト看做ス

(理論) 裏書ノ連續ハ手形上ノ權利ノ行使ニ關スル必要條件ナリ故ニ裏書ニ間斷アリシトキハ其間斷後ニ於ケル所持人ハ約束手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得ス其間斷前ノ裏書カ連續スルモ亦然リ而シテ此條件ハ單ニ裏書人ノ擔保義務ニ對シテノミ謂フニ止マラスシテ約束手形ノ主タル債務者タル振出人ニ對スルモ亦同シ原則ニ依リテ支配セラレ本條ハ廣ク約束手形上ノ權利行使ニ付テ裏書ノ連續ヲ必要トナスコトヲ定メタルモノニシテ其所持人ノ行ハントスル權利カ約束手形金額支拂ノ請求ナルト償還請求ナルトヲ問ハス間斷後ノ所持人ハ絶對的ニ約束手形上ノ權利ヲ行使スルコトヲ得サルモノナリトス

眞正ナラサル裏書ノ効力 裏書ハ形式ニ於テ間斷ナキトキハ其

裏書カ總テ真正ナルコトヲ必要トセス固ヨリ手形行爲ヲ爲ササル者ハ手形上ノ責任ヲ負擔スルノ理由ナシト雖モ善意ノ取得者カ約束手形上ノ債權者タルノ資格ヲ取得スルニハ裏書ノ真正ナルコトヲ要セス真正ナラサル裏書カ約束手形上ノ權利ノ取得ニ毫モ影響ヲ及ホササルモノナルコトノ原則ハ多數ノ立法例ノ明カニ認ムル所ナリ

(判例) 大審院判決明治三十三年(才)第五百五十九號約束手形金請求ノ件

本店ト支店トノ間ニ於ケル手形ノ裏書ハ同一人間ニ爲シタル裏書ニシテ手形上何等ノ効力ナク其裏書ハ始メヨリ記載ナキモノト同一ナリトス

「上告人カ本訴ニ於テ其支拂ヲ請求スル約束手形ノ裏書ヲ閱スルニ第一ノ裏書人ハ田邊榮三郎ニシテ被裏書人ハ株式會社實業貯金銀行ナリ其第二ノ裏書人ハ株式會社實業貯金銀行ニシテ被裏書人ハ第百銀行通旅籠町支店ナリ其第三ノ裏書人ハ第百銀行通旅籠町支店ニシテ被裏書人ハ第百銀行ナリ其第四ノ裏書人ハ第百銀行ニシテ被裏書人ハ第百銀行通旅籠町支店ナリ其第五ノ裏書人ハ第百銀行通旅籠町支店ニシテ被裏書人ハ株式會社實業貯金銀行即チ其所持人タル上告人ナリ由是觀之トキハ一見第百銀行通旅籠町支店ナルモノヲ以テ人格アルモノトシ其被裏書人トナシ又ハ裏書人トナシタルモノ、如キ外觀ナキニアラスト雖モ前顯説明セシ如ク法律上支店ハ法人ノ營業所ナルカ故ニ第百銀

行通旅籠町支店ナル記載ハ同支店ニ在テ商行爲ヲ爲ス所ノ第百銀行ヲ指示シタルモノニ外ナラス而シテ其第三第四ノ裏書ハ畢竟同一人即チ自己カ自己ニ爲シタル裏書ニシテ手形上何等ノ効力ヲ生スヘキモノニ非ス故ニ第三第四ノ裏書ハ始メヨリ記載チキモノト同一ナルヲ以テ本件係争ノ手形ハ其第二ノ裏書人タル株式会社實業貯金銀行ノ讓渡ニ依リ第百銀行力之ヲ讓受ケ又其第五ノ裏書ニ依リ引續キ同銀行力再ヒ株式会社實業貯金銀行ニ讓渡シタルモノニシテ其裏書ハ法律上全ク連續シタルモノト爲スヘキモノナルカ故ニ本件係争ノ手形所持人タル上告人ハ商法第四百六十四條ノ規定ニ違背シタルモノト謂フヲ得サルモノトス云々」

第四 支拂

支拂トハ約束手形金額ノ辨濟ヲ謂フモノニシテ(一)一覽拂約束手形ノ支拂請求期間(二)約束手形金額支拂者ノ權利(三)約束手形金額一部ノ支拂(四)約束手形金額ノ供託ニ付キ規定ス尙ホ振出人カ約束手形金額ノ支拂ヲ爲ササリシ場合ノ責任及ヒ振出人破産ノ場合ニ於ケル擔保ニ關スル規定ヲ網羅セリ

第四百七十一條準用 振出人カ約束手形ノ支拂ヲ爲ササリシ場合ニ於テ其所持人又ハ償還ヲ爲シタル裏書人ニ對シテ支拂フヘキ金額ハ第四百九十一

振出人カ支拂
リシ場合ノ責任

條又ハ第四百九十二條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

(釋義) 本條ハ約束手形ノ主タル債務者タル振出人カ約束手形金額ノ支拂ヲ爲ササリシニ因リテ負擔スル所ノ責任ヲ規定ス抑モ振出人ハ満期日ニ於テ手形金額ノ支拂ヲ爲スヘキ絶對的債務ヲ負擔ス然ルニ若シ満期日到來後所持人ノ請求アルニ拘ハラズ支拂ヲ爲ササリシトキハ其不拂ニ因リテ生シタル損害ハ之ヲ賠償セサルヘカラス是レ振出人ノ義務不履行ニ因リテ生スル責任ニシテ本條ハ其金額ヲ第四百九十一條又ハ第四百九十二條ノ規定ニ依リテ積算スヘキコトヲ明規ス即チ左ノ如シ

第一 所持人ニ對シテ支拂フヘキ金額(第四百九一條準用)

(一) 支拂アラサリシ手形金額及ヒ満期日以後ノ法定利息(商法

第二百七六條ニ規定スル年六分ノ利息)

(二) 拒絶證書作成ノ手数料其他ノ費用

第二 償還ヲ爲シタル裏書人ニ對シテ支拂フヘキ金額(第四百九二條準用)

(一) 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息

(二) 其支出シタル費用

所持人若クハ償還ヲ爲シタル裏書人ニ對シテ支拂フヘキ金額ハ振出人ノ住所地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ振出人ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ振出人ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ル

振出人破産
ノ場合

モノトス

第四百八十條準用 振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタ
ル場合ニ於テ相當ノ擔保ヲ供セサルトキハ所持人
ハ其前者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得
此場合ニ於テハ第四百七十四條乃至第四百七十八
條ノ規定ヲ準用ス

(釋義) 本條ハ約束手形ノ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合
ニ付キ規定ス蓋シ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニハ手形
金額支拂ノ不確實トナリタル場合ナレハ振出人ハ其支拂ニ對シ
テ相當ノ擔保ヲ供セサルヘカラサルニモ拘ハラズ之ヲ供セサル

トキハ約束手形ノ所持人ハ其前者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求ス
ルコトヲ得而シテ所持人カ前者ニ對シテ擔保ノ請求ヲ爲スニハ
左ノ規定ニ準據セサルヘカラス
商法第四七四條準用 振出人カ相當ノ擔保ヲ供セサリシトキハ
所持人ハ其前者ニ對シテ手形金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請
求スルコトヲ得

全第四七五條準用 約束手形ノ所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント
欲スルトキハ擔保拒絕證書ヲ作ラシメ且擔保ヲ供セシメント欲
スル者ニ對シ遲滯ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス
全第四七六條準用 裏書人カ其後者ヨリ前條ノ通知ヲ受ケタル
トキハ其前者ニ對シ其擔保スヘキ金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔

保ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シ
遲滯ナク擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

全第四百七七條準用 前三條ノ規定ニ依リテ擔保ノ請求ヲ受ケタ
ル者ハ遲滯ナク擔保拒絕證書ト引換ニ相當ノ擔保ヲ供スルコト
ヲ要ス但擔保ニ代ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得

全第四百七八條準用 前者カ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタルトキ
ハ其後者全員ノ爲メ且其後者全員ニ對シテ之ヲ爲シタル者ト看
做ス所持人又ハ裏書人カ第四百七十五條又ハ第四百七十六條第
二項ノ通知ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受クル者ノ後者全員ノ爲
メニシタルモノト看做ス

振出人ノ破
産ニ基因ス
ル擔保ノ失
効及ヒ供託
金ノ取戻

第四百八十一條準用 左ノ場合ニ於テハ前條ノ規

定ニ依リテ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ又供託シ
タル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

一 振出人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタル

トキ

二 第四百七十九條第二號乃至第五號ノ場合

商法第四百七十九條第二號 手形金額及ヒ費用支拂アリタルト

キ

全第三號 擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償

還ヲ爲シタルトキ

全第四號 約束手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

全第五號 擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ滿期日ヨリ一年内ニ償還ノ請求ヲ受クサリシトキ

(釋義)

本條ハ振出人ノ破産ニ基因シテ裏書人ノ供シタル擔保カ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金額ヲ取戻スコトヲ得ヘキ場合ニ付キ規定ス抑モ振出人破産ノ場合ニ於ケル擔保ノ請求ハ滿期日ニ於ケル手形金額ノ支拂ヲ確保スルヲ以テ其目的ト爲スモノナレハ後日ニ至リ其約束手形ノ支拂ハルヘキコトカ確實トナリタル場合或ハ既ニ支拂アリタル場合或ハ亦手形上ノ權利トシテ支

拂ヲ求ムルコト能ハサルカ如キ場合ニ於テハ其擔保ハ目的ヲ失フヲ以テ直チニ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金錢ハ之ヲ取戻スコトヲ得ヘキハ當然ノ事理ナリトス而シテ本條ハ五個ノ場合ヲ列舉ス即チ左ノ如シ

(一)振出人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ 裏書人ノ擔保ヲ供スルノ義務ハ振出人カ破産ノ宣告ヲ受ケタルニモ拘ハラズ自ラ相當ノ擔保ヲ供セサルニ基因スルモノナレハ後日ニ至リ振出人自ラ擔保ヲ提供スルニ至レハ担保義務ノ基礎ハ破レタルモノト云ハサルヘカラス從テ裏書人ノ供シタル擔保ハ其效力ヲ失ヒ又供託シタル金錢ハ返還セラレヘキモノナルコト勿論トス
(二)手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ 裏書人ノ擔保義務ハ

満期日ニ於ケル手形金額ノ支拂ヲ確保スルヲ以テ其目的ト爲ス
モノナレハ手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキハ擔保ノ必要
消滅スルモノト謂ハサルヘカラス從テ其擔保ハ效力ヲ失フヘキ
モノナリトス茲ニ所謂費用トハ拒絕証書作成ノ手数料其他擔保
ノ請求ニ關シテ支辨シタルモノヲ謂フ

(三)擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲナシ
タルトキ

擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲シタル者カ手形金額ノ償還ヲ爲シタ
ルトキハ前ニ提供シタル擔保カ其效力ヲ失ヒ供託金ノ返戻セラ
ルヘキコト言テ俟タス又其前者カ手形金額ノ償還ヲ爲シタルト
キハ後者全員ノ爲メニ其效力ヲ生シ擔保ヲ供シ若クハ供託ヲ爲

シタル者ハ最早手形上ノ債務ヲ負擔セサルモノナレハ擔保カ其
效力ヲ失フヘキハ當然ナリトス

(四)手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リ消滅シタルトキ
抑モ擔保ハ主タル債權ノ存立ヲ其必要條件トス而シテ此場合ニ
於テハ所持人ノ約束手形上ノ權利ハ消滅セシモノナレハ之ニ附
屬スヘキ從タル擔保カ獨リ殘存シ得ヘキモノニ非サレハナリ
(五)擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ満期日ヨリ一年內ニ償還
ノ請求ヲ受クサリシトキ

此場合ハ我舊商法中ニハ明文ヲ存セサル所ナリシト雖モ擔保ヲ
供シ又ハ供託ヲ爲シタル者ハ自ラ償還ヲ爲スカ又ハ償還ヲ爲サ
サルモ時効ニ因リテ約束手形上ノ權利ノ消滅ヲ俟タサルヘカラ

ストセハ所持人又ハ後者カ償還ノ請求ヲ爲ササルカ爲メ甚シキ
不利益ヲ被ルヘキノミナラス擔保又ハ供託ヲ受ケタル後者カ滿
期日後一年ヲ經過スルモ償還ヲ請求セサルカ如キハ其供セラレ
タル擔保又ハ供託シタル金錢ニ對シテ有セル權利ヲ拋棄シタル
モノト看做スモ決シテ不當ニ非ス是レ本號ノ規定アル所以ナリ

第四百八十二條準用 一覽拂ノ約束手形ノ所持人
ハ其日附ヨリ一年内ニ約束手形ヲ呈示シテ其支拂
ヲ求ムルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期
間ヲ定ムルコトヲ得
所持人カ拒絕証書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲

一覽拂約束
手形ノ支拂
ヲ求ムヘキ
期間

シタルコトヲ證明セサルトキハ其前者ニ對スル約
束手形上ノ權利ヲ失フ

(釋義) 本條第一項ハ一覽拂ノ約束手形ノ支拂ヲ求ムヘキ期間
ニ付キ規定ス所謂一覽拂約束手形ナルモノハ其名稱ノ示ス如ク
約束手形ノ所持人カ約束手形ヲ呈示シタル日ヲ以テ滿期日ト爲
スモノナリト雖モ其呈示ノ日ハ全然約束手形債權者ノ意志ニ因
リテ定マルヘキモノトセハ振出人及ヒ償還義務者ハ實際上甚シ
キ迷惑ヲ感スヘシ如何トナレハ是等ノ者ハ幾年ノ後如何ナル日
ニ於テ手形金額ノ支拂ヲ請求セラルヘキヤ得テ測ルヘカラサレ
ハナリ換言スレハ一覽拂約束手形ノ滿期日ハ手形債權者ノ隨意

一覽拂約束
手形所持人
カ前者ニ對
スル權利保

ニ定ムルコトヲ得ルモノトセハ何時支拂ヲ請求セラルルヤモ知
ルヘカラスシテ不安心ナルノミナラス時効ノ期間モ極メテ不確
定ト爲ル結果ヲ生スルノ嫌アルヲ免カレス故ニ一覽拂ノ約束手
形ト雖モ支拂ノ請求ヲ爲ス可キ期間ニ關シテハ其制限ヲ附セサ
ルヘカラス即チ振出人ノ意思又ハ法律ノ規定ニ依リテ定マリタ
ル期間内ニ呈示スルコトヲ要スルモノトス本項ニ依レハ一覽拂
ノ約束手形ノ所持人ハ約束手形ニ何等ノ記載ナキトキト雖モ振
出ノ日ヨリ一年内ニ約束手形ヲ振出人ニ呈示シテ其支拂ヲ求ム
ルコトヲ要ス若シ振出人カ一年ヨリ短キ呈示期間ヲ定メタルト
キハ其期間ヲ遵守セサルヘカラス
本條第二項ハ一覽拂ノ約束手形ノ所持人カ前者ニ對スル手形上

全ノ條件

約束手形金
額支拂者ノ
權利

ノ權利保全ノ條件ニ付キ規定ス蓋シ約束手形ノ所持人ハ振出人
ニ對シテハ縱令ヒ第一項ニ規定スル呈示期間内ヲ經過シタル後
ト雖モ手形金額ノ支拂ヲ請求シ得ヘシト雖モ振出人カ支拂ヲ爲
ササリシ場合ニ於テ所持人ハ第一振出人ノ特定セシ呈示期間又
ハ一年ノ期間内ニ呈示セシコト第二右呈示ノ事實ヲ拒絕證書ニ
依リテ證明スルコトノ二條件ヲ履踐スルニ非サレハ前者ニ對シ
テ償還請求ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第四百八十三條準用 支拂ハ約束手形ト引換ニ非

サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ約束手形ニ其支拂ヲ

受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコト
ヲ得

(釋義) 本條ハ約束手形金額支拂者ノ權利ニ付キ規定スルモノ
ニシテ手形金額ノ支拂ヲ爲ス者ハ第一其約束手形ヲ交付セシム
ルコト第二所持人ヲシテ約束手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載
セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得ルモノトス蓋シ約束手形上
ノ權利ハ手形タル證券ニ依リテノミ行使スルコトヲ得ルモノナ
レハ手形上ノ債務者ハ所持人ヲシテ其約束手形ヲ自己ニ交付セ
シムルカ又ハ之ヲ毀滅セシムルコトナキ間ハ安心シテ義務ヲ履
行スルコトヲ得ス如何トナレハ其約束手形ニシテ支拂ノ後更ニ
善意ノ第三者ニ轉帳スルトキハ再ヒ支拂ヲ爲ササル可カラサル

約束手形金
額一部ノ支
拂

ノ危険アレハナリ是レ本條第二項ニ於テ支拂ハ約束手形ト引換
ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セスト規定セシ所以ナリ次ニ手形
金額ノ支拂ヲ爲ス者カ第一項ノ規定ニ依リ約束手形ノ引渡ヲ受
クルモ若シ此ニ手形金額ノ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメサル
トキハ其手形ノ盜難若クハ遺失ノ場合ニ於テ更ニ善意ノ第三者
ニ轉帳セハ再ヒ支拂ヲ爲ササル可カラサルノ危険アリ是レ本條
第二項ニ於テ所持人ヲシテ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之
ニ署名セシムルコトヲ得ト規定セシ所以ナリ

第四百八十四條準用 約束手形ノ所持人ハ手形金
額ノ一部ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得ス

一部ノ支拂アリタルトキハ所持人ハ其旨ヲ約束手形ニ記載シ且其謄本ヲ作り署名ノ後之ヲ交付スル

コトヲ要ス

(釋義) 本號ハ約束手形金額一部ノ支拂ニ付キ規定ス約束手形ノ所持人ハ手形上ノ債務者カ一部分ノ支拂ヲ提供セシニ當リテ之ヲ拒絶スルコトヲ得サルモノナリ蓋シ一部ノ支拂ト雖モ之ヲ受ケサル可カラサルモノト爲セシ所以ハ全ク實際ノ便宜ヲ計ルニ出テタルモノニシテ一部ノ支拂ハ前者ノ償還義務ヲ輕減スルノ利益アリテ而シテ所持人ニ取リテモ何等ノ損害ヲ生スルモノニ非サレハナリ

一部ノ支拂アリタル場合ニ於テハ所持人ハ其殘部ニ付キ尙ホ權利ヲ有スルヲ以テ全部ノ支拂ヲ受ケタル場合ノ如ク所持人ヲシテ支拂ヲ爲ス者ニ對シ支拂ト引換ニ約束手形ノ交付ヲ爲サシムルコト能ハス然リト雖モ其約束手形上ニ何等ノ記載ヲモ爲サスシテ手形ヲ所持人ノ許ニ留メシムルトキハ一部ノ支拂アリシコトヲ約束手形上ニ於テ證明スルコト能ハスシテ其部分ニ付テ再ヒ支拂ヲ爲ササルヘカラサルノ虞アルヲ以テ本條第二項ハ此場合ニ處スル方法ヲ規定ス即チ所持人ハ一部支拂アリタル旨ヲ約束手形ニ記載シ以テ其約束手形ハ一部ノ支拂アリタル手形ナル旨ヲ明ニセシメ又支拂ヲ爲シタル者ヲシテ支拂ヲ爲シタルコトノ證明ヲ得セシムル爲メニ所持人ヲシテ一部支拂ノ旨ヲ記載シ

タル約束手形ノ謄本ヲ作り且之ニ署名シタル上之ヲ支拂ヲ爲シ
タル者ニ交付スヘキモノト爲セリ
一部支拂アリタル場合ニ於テ所持人ハ前者ニ對シテ償還ノ請求
ヲ爲サント欲スルトキハ其殘額ニ付キ拒絕證書ヲ作成セシメ且
前者ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

約束手形金額
ノ供託

第四百八十五條準用 約束手形ノ支拂ノ請求ナキ
トキハ振出人ハ支拂拒絕證書作成ノ期間經過ノ後
手形金額ヲ供託シテ其債務ヲ免カル、ユトヲ得

(釋義) 本條ハ約束手形金額ノ供託ニ付キ規定ス理論上約束手
形上ノ債務者ハ手形ノ呈示ヲ以テスル請求ニ對シテ辨濟ヲ爲ス

モノニシテ約束手形ノ呈示ナキトキハ支拂ヲ爲スコトヲ要セサ
ルノミナラス實際上約束手形ハ轉帳流通スルモノナレハ約束手
形上ノ債務者ハ何人カ債權者ナルヤヲ確知スルコト能ハス從テ
債權者ヲ追隨シテ支拂ヲ爲スコト不能ナリト謂ハサルヘカラス
故ニ滿期日ヲ經過スルモ手形金額支拂ノ請求ナキトキハ其支拂
ヲ爲スコト能ハサルカ爲メ永久手形債務ヲ負擔セサル可カラス
トセハ債務者ニ取リテ苛酷ナリト云ハサルヘカラス是レ本條ノ
明規アル所以ニシテ振出人ハ支拂拒絕證書作成ノ期間即チ滿期
日後二日ヲ經過シタルトキハ手形金額ヲ供託シテ其債務ヲ免カ
ルルコトヲ得ヘキモノト爲セリ供託ニ關シテハ明治三十二年法
律第十五號供託法及ヒ同年大藏省令第六號供託物取扱規程ヲ參

觀スヘシ

第五 償還ノ請求

償還ノ請求トハ振出人カ正當ノ時期ニ於テ支拂ノ爲メニスル呈示ヲ受ケタル場合ニ全然支拂ヲ拒絶スルカ又ハ完全ナル支拂ヲ爲ササリシトキ所持人カ裏書人ニ對シテ手形金額及ヒ費用ヲ償ヒ還サレノコトヲ請求シ亦後者ヨリ此請求ヲ受ケタル者カ前者ニ對シテ自ラ償還シタル金額及ヒ費用ヲ償ヒ還サレノコトヲ請求スルヲ謂フ

第四百八十六條準用 振出人カ約束手形ノ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ償還ノ

償還請求ヲ爲シ得ヘキ場合

請求ヲ爲スコトヲ得

(釋義)

本條ハ所持人カ償還ノ請求ヲ爲シ得ヘキ場合ニ付キ規

定ス抑モ約束手形ノ裏書人ハ後者ニ對シテ手形金額カ支拂ハルヘキコトノ擔保義務ヲ負擔スルモノニシテ振出人カ約束手形ノ支拂ヲ爲ササリシトキハ其擔保義務ノ實行セラルヘキ場合ナリトス即チ所持人ハ前者ニ對シテ支拂アラサリシ手形金額及ヒ満期日後ノ法定利息并ニ費用ヲ支辨セラレノコトヲ請求スルコトヲ得所持人ノ此權利ヲ償還請求權ト稱ス

約束手形ニ於テ支拂ヲ爲スヘキ地位ニ立ツ者ハ振出人及ヒ支拂擔當者ナリトス而シテ支拂擔當者カ支拂ヲ爲ササリシ場合ニ於タル償還請求ニ付キテハ第四百九十條準用ヲ參觀スヘシ

第四百八十七條準用 所持人カ前條ノ請求ヲ爲サ
ント欲スルトキハ支拂ヲ求ムル爲メ約束手形ヲ振
出人ニ呈示シ若シ手形金額ノ支拂ヲキトキハ滿期
日又ハ其後二日內ニ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償
還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ拒絕證書作成ノ
翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス
所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲ササリシトキハ
其前者ニ對スル約束手形上ノ權利ヲ失フ

(釋義)

本條ハ償還請求權ノ行使并ニ保全ノ條件ニ付キ規定ス

約束手形ノ所持人カ前條ニ規定スル償還請求權ヲ行使シ前者ヲ
シテ手形金額及ヒ費用ヲ償還セシメント欲スルトキハ極メテ嚴
格ナル手續ヲ爲ササルヘカラス即チ左ノ如シ

第一 支拂ヲ求ムル爲メ約束手形ヲ振出人ニ呈示スルコト
此呈示ハ必シモ滿期日ニ於テ爲スコトヲ要セスシテ支拂拒絕証
書ヲ作成シ得ヘキ時間內ニ於テ爲スヲ以テ足レリトス

第二 手形金額ノ全部若シハ一部ノ支拂ヲキトキハ滿期日其後
二日內ニ支拂拒絕證書ヲ作ラシムルコト

支拂拒絕證書ハ第五百十四條準用ニ依リ公証人又ハ執達吏ヲシ
テ之ヲ作成セシムルモノトス

第三 拒絕證書作成ノ翌日マテニ償還ヲ爲サシメント欲スル者

ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發スルコト
所持人カ右ノ手續ヲ爲ササルトキハ其結果如何是レ本條第二項
ノ規定スル所ニシテ所持人ハ其前者ニ對スル約束手形上ノ權利
ヲ喪失スルモノトス

裏書人ノ償
還請求

第四百八十八條準用 裏書人カ其後者ヨリ前條第
一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其前者ニ對シテ償還
ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ償還ヲ爲サシメント欲
スル者ニ對シ自己カ通知ヲ受ケタル日ノ翌日マテ

ニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

(釋義) 本條ハ裏書人カ其前者ニ對スル償還請求ニ付キ規定ス
約束手形ノ裏書人カ所持人其他自己ノ後者ヨリ前條第一項ニ規
定スル償還請求ノ通知ヲ受ケタルトキハ自ラ償還金額ヲ支拂フ
ヲ須非スシテ直チニ其前者ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ヘキモノ
トス而シテ此請求ヲ爲スニハ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對
シ自己カ通知ヲ受ケタル日ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發ス
ヘキモノトス

第四百八十九條準用 約束手形ノ所持人ハ支拂拒
絶證書ヲ作ラシメサリシトキト雖モ其作成ヲ免除

支拂拒絶証
書作成ノ免
除

シタル者ニ對シテハ手形上ノ權利ヲ失フコトナシ
所持人カ支拂拒絶證書ヲ作ラシメタルトキハ其作
成ヲ免除シタル者ト雖モ其費用ヲ償還スル義務ヲ
免カルルコトヲ得ス

(釋義) 本條ハ支拂拒絶證書作成ノ免除ニ付キ規定ス支拂拒絶
證書ノ作成ト償還請求ノ通知トハ共ニ償還請求權行使ノ要件ナ
ルコトハ既ニ第四百八十二條準用ノ下ニ説明セシ所ナリ而シテ
二者共ニ償還義務者ノ利益ヲ保護スルモノナレハ其利益ヲ享有
スル者即チ償還義務者ニ於テ單ニ正當ノ時期ニ約束手形ヲ呈示
シ手形金額ノ支拂拒絶セラントナリシコトノ所持人ノ陳述ヲ信シ

支拂拒絶
證書作成
ノ効力
免除証

テ其償還義務ヲ履行セントスル者アレハ法律ハ之ヲ禁止スルノ
理由ナシ是レ本條ニ於テ支拂拒絶證書作成ノ免除ヲ認メタル所
以ナリ支拂拒絶證書作成免除ノ効力ヲ列舉スレハ左ノ如シ
(一)支拂拒絶證書ヲ作成セシメサルモ免除者ニ對シテハ償還請求
權ヲ行フコトヲ得
(二)償還義務者タル免除者ニ於テ約束手形ノ呈示ナカリシコトヲ
證明セサルヘカラス
拒絶證書作成ノ免除ハ約束手形ノ呈示免除ニ非ス故ニ所持人ハ
固ヨリ正當ノ時期正當ノ場所ニ於テ支拂ノ爲メニスル呈示ヲ爲
ササルヘカラス然リト雖モ其呈示ヲ爲シタル事實ヲ證明スルニ
必要ナル拒絶證書ノ作成ヲ免除スルカ故ニ所持人ニ於テ呈示シ

タルコトヲ證明スルノ責任ナク免除者カ呈示ナカリシコトヲ證明スルコト拒絶證書作成免除ノ趣旨ニ適スルモノト謂ハサルヘカラス

(三)拒絶證書作成ノ免除ハ拒絶證書作成ノ權利ヲ剝奪スルモノニ非ス 拒絶證書ハ所持人カ其前者ニ對シテ償還請求權ヲ行使スルニ欠クヘカラサル利器ナレハ縱令ヒ作成ノ免除アリシ場合ニ於テモ所持人ハ尙ホ拒絶證書ノ利益ヲ享受スルコトヲ妨ケサルモノトス殊ニ償還請求權ハ前者ノ總員ニ對シテ存スルモノナレハ若シ其中ノ一人カ免除セシ故ヲ以テ所持人カ其拘束ヲ受ク作成ノ權利ヲ喪失スルモノトセハ他ノ前者ニ對スル償還請求權ヲ失フ結果ヲ惹起シ所持人ニ對シテ非常ニ重大ノ損害ヲ被ラシム

ルモノト謂ハサルヘカラス故ニ所持人ハ免除ヲ受クタル場合ニ於テモ拒絶證書ヲ作成セシムルコトヲ得ルノミナラス其作成ノ費用ハ免除者ト雖モ之ヲ償還スルノ義務ヲ免カルルコトヲ得サルハ本條第二項ノ明規スル所ナリ

(四)拒絶證書作成ノ免除ハ償還請求通知ノ免除ヲ包含スルモノニ非ス 拒絶證書ノ作成ト償還請求ノ通知トハ償還請求權行使ニ關スル互ニ獨立シタル要件ニシテ二者相抱合スルモノニ非ス而シテ我約束手形法ハ償還請求通知ノ免除ヲ認メサルモノナレハ若シ特ニ其通知ノ免除ヲ約束手形面ニ記載スルモ當然無効ト謂ハサルヘカラス

第四百九十條準用 支拂地カ振出入ノ住所地下異

他所拂約束

手形ノ償還
請求

ナル場合ニ於テ所持人カ償還ノ請求ヲ爲サント欲
スルトキハ支拂擔當者ニ若シ約束手形ニ支拂擔當
者ノ記載ナキトキハ支拂地ニ於テ振出人ニ約束手
形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス此場合ニ
於テ支拂擔當者又ハ振出人カ支拂ヲ爲ササリシト
キハ所持人ハ支拂地ニ於テ第四百八十七條第一項
ノ規定ニ從ヒ支拂拒絶証書ヲ作ラシメ且償還請求
ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

約束手形ニ支拂擔當者ノ記載アル場合ニ於テ所持
人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲ササリシトキハ振出
人ニ對シテモ手形上ノ權利ヲ失フ

(釋義) 本條ハ所謂他所拂約束手形ニ關スル償還請求ニ付キ規
定ス抑モ所持人カ償還請求權ヲ行使シ得ヘキ場合並ニ其要件ハ
第四百八十六條及ヒ第四百八十七條準用ニ於テ説明セシ所ニシ
テ振出人カ約束手形金額ノ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其
前者ニ對シテ償還請求ヲ爲シ得ヘキモノニシテ亦第四百四十二
條ニ規定スル通則ニ依レハ他所約束手形ノ場合モ振出人ノ營業
所ニ於テ約束手形ヲ振出人ニ呈示シ手形金額ノ支拂ヲ求メサル

ヘカラスト雖モ是レ極メテ不便ナレハ第四百五十三條準用ニ依
レハ他所拂約束手形ノ場合ニハ振出人ハ他人ヲ支拂擔當者トシ
テ約束手形ニ記載スルコトヲ得ヘキモノト爲シ以テ所持人ノ便
益ヲ計ルコトト爲セリ從テ本條ニ於テモ此趣旨ヲ貫キ他所拂約
束手形ノ所持人カ償還ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂擔當
者ニ約束手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求メ若シ約束手形ニ支拂擔當
者ノ記載ナキトキハ支拂地ニ於テ(支拂地以外ニ於テハ非ナリ判
例欄參觀)振出人ニ約束手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムヘキモノナ
リ而シテ支拂擔當者又ハ振出人カ支拂ヲ爲ササリシトキハ滿期
日其後二日內ニ支拂地ニ於テ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償還ヲ
爲サシメント欲スル者ニ對シ拒絕證書作成ノ翌日マテニ償還請

求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス而シテ所持人カ此手續ヲ爲ササリ
シトキハ前者ニ對スル約束手形トノ權利ヲ喪失スヘキコト勿論
ナリトス

本條第二項ハ約束手形ニ支拂擔當者ノ記載アルニ當リ所持人カ
前項ニ定メタル手續ヲ怠リシ場合ニ於ケル效果ヲ規定ス即チ約
束手形ニ支拂擔當者ノ記載アル場合ニ於テ所持人カ支拂擔當者
ニ約束手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求メ而シテ支拂擔當者カ支拂ヲ
爲ササリシトキハ滿期日又ハ其後二日內ニ支拂地ニ於テ支拂拒
絶證書ヲ作ラシメ且償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シテ拒絕
證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發セサリシトキハ所持
人ハ單ニ裏書人ニ對シテ約束手形上ノ權利ヲ失フニ止マラスシ

テ振出人ニ對シテモ亦約束手形上ノ權利ヲ失フヘキモノト爲セ
リ換言スレハ以上ノ手續ハ單ニ裏書人ニ對スル償還請求權保全
ノ條件ニ止マラスシテ振出人ニ對スル手形上ノ權利保全ノ要件
ナリトスルモノナリ今其理由ヲ按スルニ振出人カ他所拂約束手
形ニ支拂擔當者ヲ記載セシトキハ支拂擔當者ニ手形金額支拂ノ
資金ヲ送附スル等必ス支拂ノ爲メニ準備ヲ爲スヘシ故ニ所給人
ニ於テ前項ニ規定スル期間内ニ支拂擔當者ニ支拂ヲ求メサレハ
後日ニ至リ約束手形ノ支拂ハレサルコトヲ理由トシテ振出人ニ
對シ請求ヲ爲スコトヲ得サルモノト爲スハ當然ノ事理ナリト謂
ハサルヘカラス然リト雖モ約束手形ニ支拂擔當者ノ記載ナキ場
合ニ於テハ縱令ヒ所持人カ前項ニ規定スル手續ヲ爲ササルモ前

者ニ對スル約束手形上ノ權利ヲ失フニ止マリ振出人ニ對シテ失
權ノ效果ヲ生セサルモノナルコト勿論ナリトス

(判例) 大審院判決明治三十三年(才)第三百四十二號約束手形金
爲替訴訟ノ件

約束手形ノ支拂地ニ振出人カ營業所住所又ハ居所ヲ有セサルノ
故ヲ以テ所持人ハ前者ニ對スル償還請求權保全行爲ヲ免カルル
コトヲ得サルノミナラス縱令ヒ振出人ノ本籍地ニ至リ手形ヲ呈
示シテ支拂拒絕証書ヲ作成シ以テ裏書人ニ償還請求ノ通知ヲ爲
スモ尙ホ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ喪失スルモノナリトス
「依テ按スルニ手形所持人ニ於テ其裏書人ニ對シ手形金ノ償還請
求ヲ爲サンニハ必ス先ツ支拂人ニ對シテ支拂請求ノ手續ヲ履行

シタルコト即支拂期日ニ手形面記載ノ支拂地ニ於テ支拂ヲ求ムル爲メ手形ヲ支拂人ニ呈示シ其支拂ヲ請求シタルモ之レカ支拂ヲ拒絶セラレタルコトヲ要ス苟クモ此手續ヲ履行セサルニ於テハ裏書人ニ對シ手形上ノ權利ヲ喪失スルコトハ商法等四百八十六條同第四百八十七條同第四百九十條同第五百二十九條ノ規定スル所ナリ而シテ手形所持人カ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ受クル爲メ支拂期日ニ支拂地ニ至リ支拂人ノ營業所住所居所ノ問合ヲ爲シ尙ホ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スモ之ヲ知ル能ハサリシトキハ即チ支拂人ニ於テ支拂ヲ拒絶シタルモノトスヘキハ同第四百四十二條ニ徴シテ明カナルモ單ニ支拂人カ支拂地ニ營業所住所又ハ居所ヲ有セサルトノ一事ヲ以テ手形所持人カ支拂請求手續ヲ

爲ササルモ之ヲ爲シタルモノト看做ササルヲ得ストノ規定ナキノミナラス支拂人カ支拂地ニ營業所住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ手形所持人ハ支拂人ノ本籍地ニ至リ手形ヲ呈示シテ支拂拒絶證書ヲ作成シ以テ裏書人ニ償還請求ノ通知ヲ爲スニ依リ手形上ノ權利ヲ失ハサルモノトスルカ如キ規定モ亦アルナシ然ルニ原院ニ於テ本件手形ノ支拂人カ支拂期日ニ其支拂地ナル若松町ニ營業所住所又ハ居所ヲ有セサリシモノト認メ此場合ニ於テハ縱令手形所持人ナル被上告人カ支拂地ニ於テ手形ヲ呈示シテ支拂請求ヲ爲ササルモ適法ニ之ヲ呈示シタルモノト看做ササルヲ得ス殊ニ被上告人ハ支拂人ノ本籍地ニ至リ手形ヲ呈示シテ支拂ヲ請求シ且支拂拒絶證書ノ作成ヲ免除セラレ居ルニモ不拘支拂

拒絕證書ヲ作成シ裏書人ナル上告人ニ對シ償還請求ヲ通知シタルニ依リ手形上ノ權利ヲ失ハサルモノナリト判定シタルハ前掲法條ノ規定ニ違背シタルモノトス云々」

約束手形所持人ノ前者ニ對スル償還請求金額

第四百九十一條準用 約束手形ノ所持人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

- 一 支拂アラザリシ手形金額及ヒ滿期日以後ノ法定利息
 - 二 拒絕証書作成ノ手数料其他ノ費用
- 前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支

拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ル

(釋義) 本條ハ約束手形ノ所持人ノ前者ニ對スル償還請求金額ニ付キ規定ス抑モ約束手形ノ所持人カ滿期日ニ支拂地ニ於テ完全ナル支拂ヲ受クサルトキハ其手形ハ所持人ノ爲メニ金錢ニ代

用セラレヘキ効用ヲ完カラシムルコトヲ得サルコト明瞭ナリ故ニ約束手形ノ所持人カ手形金額ノ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ之ヲシテ十分ナル満足ヲ得セシメントスルニハ恰モ満期日ニ支拂地ニ於テ相違ナク支拂ヲ受ケシ如キ地位ニ在ラシムルコトヲ要ス否ラサレハ決シテ手形上ノ完然ナル目的ヲ達スルコト能ハス而シテ此目的ヲ達セントスルニハ所持人ヲシテ支拂地ニ於テ受取ルヘキ金額並ニ其支拂ナカリシカ爲メニ生シタル附隨ノ費用ヲモ取得セシメサルヘカラス法律カ償還金額ヲ算定セシ基礎モ亦實ニ茲ニ存ス即チ

第一 支拂アラサリシ手形金額及ヒ満期日以後ノ法定利息
支拂アラサリシ手形金額トハ一部ノ支拂アリシ場合ニハ支拂ナ

キ殘部ヲ謂ヒ全部ノ支拂ナカリシ場合ニハ手形金額全部ヲ謂フ而シテ法定利息トハ第二百七十六條ニ定ムル年六分ノ利息ヲ謂フ蓋シ所持人ハ満期日ニ於テ手形金額ヲ受取ルヘキ權利ヲ有スルモノナレハ若シ支拂ナカリシトキハ當然年六分ノ利息ヲ支拂ハシメ以テ所持人ヲシテ秋毫モ損失スル所ナカラシムルモノナレハナリ

第二 拒絶証書作成ノ手数料其他ノ費用

償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支拂地ト同一ナル場合ニハ右ノ償還金額ヲ以テ所持人ハ満期日ニ支拂ヲ受ケタルト同様ノ利益ヲ享受スト雖モ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支拂地ト異なる場合ニ於テハ償還金額ノ計算ニ付キ他ノ方法ヲ採用スルニ

非サレハ所持人ヲシテ満期日ニ於ケル手形金額ノ支拂ト同様ノ利益ヲ享受スルコト能ハサラシム是レ本條第二項ニ於テ所謂假想の手形ノ相場ニ依ルノ方法ヲ採用セシ所以ナリ即チ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算シ若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ計算スヘキモノト爲セリ

償還請求ヲ受ケタル裏書人ノ前者ニ對スル償還

第四百九十二條準用 償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

還請求金額

- 一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
- 二 其支出シタル費用

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(釋義) 本條ハ償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ノ前者ニ對スル償

還請求金額ニ付キ規定ス即チ左ノ如シ

- 一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
- 其支拂ヒタル金額トハ裏書人カ後者ノ請求ニ應シ支拂ヲ爲シタル金額ニシテ所持人ヨリ請求ヲ受ケタル場合ニハ前條ノ金額ニシテ裏書人ヨリ請求ヲ受ケタル場合ニハ其裏書人ノ支拂ヒタル

金額ノ利息及ヒ費用ヲ包含スルモノナリトス支拂ノ日以後ノ法定利息トハ裏書人ノ償還ヲ爲シタル日以後年六分ノ利息ヲ謂フ
二 其支出シタル費用 トハ前者ニ對シ償還請求通知ノ費用其他之ニ關シテ生シタル一切ノ費用ヲ謂フ
前條第二項ノ規定ハ本條ノ場合ニモ之ヲ準用スルノ必要ナルハ言テ俟タズ即チ償還金額ハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地カ償還ノ請求ヲ爲ス裏書人ノ住所地ト異ナル場合ニ於テハ償還ノ請求ヲ爲ス裏書人ノ住所地ヨリ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ償還ノ請求ヲ爲ス裏書人ノ住所地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一

戻リ爲替手形

覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ計算スヘキモノトス

第四百九十三條準用 約束手形ノ所持人又ハ裏書人ハ償還ノ請求ヲ爲ス爲メ其前者ヲ支拂人トシテ爲替手形ヲ振出スコトヲ得

(釋義) 本條ハ所謂戻リ爲替手形ニ付キ規定ス約束手形ノ所持人又ハ償還ヲ爲シタル裏書人ハ前二條ニ定メタル金額ノ償還ヲ其前者ニ對シテ請求スルコトヲ得ヘキコトハ既ニ説明セシ所ナリ然ルニ償還請求ヲ爲スニハ先ツ約束手形拒絶證書并ニ償還計算書ヲ償還義務者ニ送附シ之カ到達シタル後償還金額ヲ取立ツルモノニシテ其間越ナカラサル日數ヲ要スルヲ以テ所持人又ハ

償還ヲ爲シタル裏書人ハ其間ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得ヘシト雖モ尙ホ大ナル不便ヲ感スヘキモノナレハ此不便ヲ除却シ此等ノ者ヲシテ即時ニ償還金額ヲ取得スルコトヲ得セシメサルヘカラス茲ニ於テ乎本條ハ償還請求ノ一便法トシテ償還ノ請求ヲ受クル者ヲ支拂人トシテ償還金額ニ付キ一覽拂ノ爲替手形ヲ振出シ之ヲ第三者ニ賣却スル等(例之ハ銀行ノ割引)ノ方法ヲ以テ即時ニ現金ニ換フルコトヲ得セシムルモノト爲セリ償還請求ヲ爲サント欲スル者カ斯ノ如クニシテ振出ス爲替手形ヲ戻リ爲替手形ト稱ス

第四百九十四條準用 所持人又ハ裏書人カ前條ノ規定ニ依リテ振出ス爲替手形ハ償還ノ請求ヲ受ク

戻リ爲替手形ノ要件

ル者ノ住所地ヲ以テ其支拂地ト定メタル一覽拂ノモノタルコトヲ要ス

所持人カ振出ス爲替手形ニハ約束手形ノ支拂地ヲ以テ振出地ト定メ裏書人カ振出ス爲替手形ニハ其住所地ヲ以テ振出地ト定ムルコトヲ要ス

(釋義) 本條ハ戻リ爲替手形ノ要件ニ付キ規定ス蓋シ戻リ爲替手形ハ約束手形ノ所持人又ハ裏書人カ償還ノ請求ヲ爲ス爲メ振出スモノナレハ其要件ハ自ラ償還請求ノ本來ノ目的ノ範圍内ニ止マルヘキモノニシテ否ラサレハ償還ノ請求ヲ受クル前者ノ利益ヲ害スルモノナレハナリ今其要件ヲ舉クレハ左ノ如シ

- (一) 戻リ爲替手形ノ振出地 所持人カ振出ス場合ニハ約束手形ノ支拂地裏書人カ振出ス場合ニハ其住所地ヲ以テ戻リ爲替手形ノ振出地ト爲スコトヲ要ス
- (二) 戻リ爲替手形ノ支拂地 償還ノ請求ヲ受クル者ノ住所地タルコトヲ要ス
- (三) 戻リ爲替手形ノ満期日 一覽拂ノモノタルコトヲ要ス
- (四) 戻リ爲替手形ノ支拂人 約束手形ノ所持人ノ前者タルコトヲ要ス
- (五) 戻リ爲替手形ノ手形金額 償還請求ヲ爲ス者カ戻リ爲替手形ノ方法ニ依ラサル場合ニ於テ請求スルコトヲ得ル償還請求額及ヒ戻リ爲替手形ヲ振出スニ依リテ生シタル費用(例ヘハ戻リ爲替

償還ヲ爲ス者ノ權利

手形ノ割引料戻リ爲替手形ニ貼用スヘキ印紙税等はナリ)ノ二者ヨリ成立スルモノトス

第四百九十五條準用 償還ハ約束手形支拂拒絶證

書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

(釋義) 本條ハ償還ヲ爲ス者ノ權利ニ付キ規定ス即チ償還ノ請

求ヲ受ケタル者ハ約束手形其手形金額ノ支拂アラサリシコトヲ
証明スル支拂拒絕證書及ヒ償還金額ヲ明カニスル所ノ償還計算
書ノ交付ヲ受クルニ非サレハ償還ヲ爲スコトヲ要セサルモノト
シ又償還ヲ受ケタル者ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ
記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得ルモノト爲セリ

(理論) 戻リ爲替手形ヲ振出シタル場合ニ於ケル本條ノ適用如
何蓋シ償還義務者カ戻リ爲替手形ノ支拂ヲ爲スハ償還ヲ爲スノ
一方法ナリ故ニ償還義務者タル戻リ爲替手形ノ支拂人ハ本約束
手形其支拂拒絕證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ戻リ爲替
手形ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セサルモノトス

償還請求通

第四百九十六條準用 第四百七十八條第二項ノ規

知ノ効力

定ハ償還ノ請求ニ之ヲ準用ス

(釋義) 本條ハ償還請求通知ノ効力ニ付キ規定ス即チ所持人又
ハ裏書人カ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ遲滯ナク償還請
求ノ通知ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受クル者ノ後者全員ノ爲メ
ニシタルモノト看做サルヘキモノトス若シ本條ノ規定ヲ欠クト
キハ通知ヲ爲ス者ト通知ヲ受クル者トノ中間ニ位スル者ハ自己
ノ權利ヲ保全スルカ爲メニ前者ニ對シテ通知ヲ爲ササルヘカラ
サルノ不便ヲ生スヘシ是レ本條ノ規定アル所以ニシテ以テ此不
便ヲ除却セリ

第六 保證

保證トハ約束手形上ノ主タル署名者カ負擔シタル手形債務ヲ擔保スル從タル手形行爲ナリトス

手形ノ保證モ亦一ノ商行爲ナレハ(商法第二六三條)約束手形上保證ヲ爲シタル者ハ商行爲ノ通則ニ依リ連帶責任ヲ負擔スヘキモノナリ(商法第二七三條從テ此保證ニ付キテハ民法ノ連帶債務ノ原則ニ關スル規定ノ準用セラルヘキコト明カナリトス(民法第四三二條乃至第四四五條))

第四百九十七條準用 約束手形ヨリ生シタル債務ヲ保證スル爲メ約束手形其謄本又ハ補箋ニ署名シタル者ハ其債務カ無効ナルトキト雖モ主タル債務

保證債務ノ
成立及ヒ効
力

者ト同一ノ責任ヲ負フ

(釋義) 本條ハ約束手形債務ノ保證ノ成立及ヒ効力ニ付キ規定ス約束手形上ノ保證債務モ亦一般ノ保證債務ノ如ク從タル債務ナレハ主タル債務ノ存在ヲ必要トスルコト勿論ニシテ約束手形上主タル債務者ノ署名ナカルヘカラス若シ此點ニ於テ欠クル所アレハ手形ノ保證ヲ成立スルコトヲ得スト雖モ一般ノ保證債務ニ於ケルカ如ク主タル債務カ實質上存在スルコトヲ必要トセス換言スレハ手形債務ハ其性質上形式ヲ俟テ成立スルモノナレハ形式的ニ主タル債務ヲ負擔スヘキ者ノ署名アレハ實質上其債務ハ存在セサルモ保證ハ成立スルモノト謂ハサルヘカラス例之ハ約束手形ノ振出人裏書人カ無能力ナル爲メ其債務ヲ取消シ又

ハ振出人裏書人ノ署名カ偽造ナルカ爲メ主タル債務カ始メヨリ全然無効ナルトキト雖モ保證ハ有效ニシテ恰モ主タル債務カ有效ナリシト同一ノ效力ヲ有スヘキモノニシテ振出人ノ債務ヲ保證スル爲メニ署名シタル者ハ振出人ト同シク絶對的手形金額支拂ノ債務ヲ負擔シ裏書人ノ爲メニ保證セシ者ハ裏書人ノ後者全員ニ對シ其裏書人ト同一ノ責任ヲ負擔セサルヘカラス

手形保証ノ形式

手形保証ノ形式 手形ノ保証ハ約束手形ノ原本其謄本又ハ補箋ニ署名スルニ依リテ爲スモノトス從テ其他ノ紙面ニ爲シタルトキハ保証トシテ如何ニ明確ナル記載アルモ手形保証ノ效力ヲ發生セサルモノトス我舊商法ハ保証義務ヲ負擔スルニハ別ニ書面上ノ陳述ヲ以テスルコトヲ得ト規定シ約束手形以外ニ保証ノ記

載ヲ爲スコトヲ許セリ是レ佛蘭西法系諸國ノ立法例ニ倣ヒタルモノニシテ其理由トスル所ハ約束手形ニ保証ノ記載アルトキハ手形上ノ債權者ノ爲メニハ利益ナルカ如シト雖モ實際ニ於テハ主タル債務者ノ信用ノ不十分ナルコトヲ表白スルノ傾向ヲ有スル者ナレハ其約束手形ハ爲メニ流通ノ圓滑ヲ期スルコト能ハス故ニ別紙ニ爲スコトヲ許ステ相當トスト謂フニ在リ然リト雖モ是レ手形以外ニ手形行爲ノ成立ヲ許容スルモノナレハ實ニ手形ノ觀念ニ背反スルモノト謂ハサルヘカラス加之斯ノ如キ事情ヲ顧慮セハ手形ノ保証ヲ公然表白セスシテ優ニ其目的ヲ達スルノ方法アリ從テ別紙ニ保証ヲ許スノ必要ナキモノナリ例之ハ甲ナル約束手形振出人ノ債務ヲ保証セントスル者ハ甲ヲ受取人トシ